

9 相続税、贈与税の要約

2020.12.28

(相続税)

1. 納税義務者

- (1) 相続、遺贈により財産を取得した個人
- (2) 相続時精算課税の適用を受ける贈与により財産を取得した個人
- (3) 無制限納税義務者（国内に住所を有する者、日本国籍を有する者）
- (4) 個人とみなされる人格のない社団等
- (5) 個人とみなされる信託の受託法人

2. みなし相続財産等

- (1) 生命保険金・損害賠償金（死亡）
被相続人が負担した保険料等に対応する部分
- (2) 退職手当金
- (3) 生命保険契約等に関する権利
- (4) 定期金に関する権利
- (5) 定額譲受、債務免除等
依

3. 非課税財産

- (1) 墓所・祭具等
- (2) 公益を行う者が相続等により取得した財産
- (3) 生命保険金等
500 万円×法定相続人数の限度内
- (4) 死亡退職金等
(3)と同じ

4. 債務控除

- (1) 債務及び公租公課
- (2) 葬式費用
 - ① 葬儀、香典返礼費用
 - ② 墓碑、墓地の購入費用等
 - ③ 法事に要する費用
 - ④ 医学上等の特別の処置費用
 - ⑤ 社葬等の費用

5. 遺産にかかる基礎控除

- (1) 基礎控除 $\overset{3000}{5,000}$ 万円 $\overset{600}{}$
- (2) 法定相続人数控除 $1,000$ 万円 $\times$ 法定相続人の数

6. 相続税額の加算

7. 相続開始前 3 年以内贈与

8. 配偶者に対する相続税の軽減

- ① 法定相続分相当額又は 1 億 6 千万円のいずれか多い金額
- ② 申告期限から 3 年内の分割も可
- ③ やむを得ない事情があるときは、税務署長の承認を受けて、分割できることとなった日から 4 ヶ月以内に軽減の適用を受けることができる。
- ④ 隠蔽・仮装の場合の不適用

9. 相次相続控除

10 年以内に 2 回の相続が発生の場合

前回の相続税額の一定割合相当額に、10 年に対する経過年数を乗じた額が今回の相続税額から控除される。

今回の相続財産にかかわりなく、10 年内残存年数割合分（前回税額 100 百万円で 3 年経過なら 70 百万円が控除できる）が各相続人の今回の税額から単純に控除できる。

2. 相続財産の限定承認

(1) 概要図

	被相続人 百万円	相続（単純）	（限定承認）
購入価額	200		
現在時価	200		
相続評価	150	① 150-180 債務 180	② 150-150
準確定申告			②被相続人 200-200=0
相続人取得価額			200
		相続税 0 <u>取得価額引継</u>	相続税 0 <u>取得価額引継</u>

(2) 譲渡所得税の申告等

- ① 限定承認をすると譲渡所得の基になる財産は、相続開始時には被相続人から相続人へ時価で譲渡したものとみなされて、被相続人の譲渡所得税の申告が必要になる。尚、住民税の申告は必要ない。

$$\text{売却代金 (時価)} - \text{取得費} - \text{特別控除等} = \text{譲渡所得}$$

- ② 相続税の課税関係

$$\text{相続財産の評価} - \text{債務、譲渡所得税控除} = \text{課税価格}$$

被相続人 1,260,000 人 1,270,000 人
 課税対象 530,000 540,000

(別表)

相続税の調査事績

23/1 23/10

事務年度		平成24事務年度	平成25事務年度	対前事務年度比
項目				
①	実地調査件数	件 12,210	件 11,909	% 97.5
②	申告漏れ等の非違件数	件 9,959	件 9,809	% 98.5
③	非違割合 (②/①)	% 81.6	% 82.4	ポイント 0.8
④	重加算税賦課件数	件 1,115	件 1,061	% 95.2
⑤	重加算税賦課割合 (④/②)	% 11.2	% 10.8	ポイント ▲ 0.4
⑥	申告漏れ課税価格(※)	億円 3,347	億円 3,087	% 92.2
⑦	⑥のうち 重加算税賦課対象	億円 436	億円 360	% 82.5
⑧	追徴税額	本税 億円 527	億円 467	% 88.8
⑨		加算税 億円 83	億円 71	% 85.2
⑩		合計 億円 610	億円 539	% 88.3
⑪	1 実地 件 当 地 調 り 査	申告漏れ 課税価格(※) (⑥/①) 万円 2,741	万円 2,592	% 94.6
⑫		追徴税額 (⑩/①) 万円 500	万円 452	% 90.5

(※) 「申告漏れ課税価格」は、申告漏れ相続財産額(相続時精算課税適用財産を含む。)から、被相続人の債務・葬式費用の額(調査による増減分)を控除し、相続開始前3年以内の被相続人から法定相続人等への生前贈与財産額(調査による増減分)を加えたものである。

1. 養子の相続権 (563, 12.3) に降)

- (1) 縁組の日から 実子と同様の相続権を取得する
- (2) 実親に対しても実子としての相続権を持つ (二重の相続権)
- (3) 特別養子は、実子の親族関係は終了する

2. 養子の数に制限 (相続税)

- (1) 被相続人に実子がいない場合 養子は 1人まで
- (2) 実子がいる場合、2人まで
- (3) 制限外の養子の 控除除はしない
別居計算はするの? (?)

相続税

2020.12.28

1. 債務控除は、相続により取得した財産から控除する

2. 遺産分割される債権・債務が確定した場合

相続人間で債務の融通(変更)はできない

3. 債権者は、相続人に対し、その法定相続分中に請求できる

限り、債務は遺産分割の対象とはならない

4. 例えば、未返済の借入金や不応分を取得した人から、
その債務(借入金)を負担している。

この場合、債権者の承諾を得なければならない。

遺産分割協議書に基づいて支払を拒むことはできない。

5. 相続税では、分割協議書に基づいて債務控除される

3. 特定居住用小規模宅地等の特例の改正

宅地等の利用区分		限度面積 m ²	同左改正後 m ²	減額割合 %
①	被相続人等の事業用	400	400	80
②	〃 特定同族会社事業用	400	400	80
③	〃 貸付事業用 (一定法人)	200	200	50
④	〃 貸付事業用	200	200	50
⑤	〃 居住用	240	<u>330</u>	80

4. 相続時精算課税の適用対象者の範囲の拡充

	改正前	改正後
贈与者	65 歳以上の直系尊属	<u>60 歳以上へ改正</u>
受贈者	20 歳以上の推定相続人	<u>推定相続人及び孫へ改正</u>

5. 相続した非上場株式を発行会社に譲渡した場合の特例

配当所得から譲渡所得の申告の選択が可能（届出書必要）

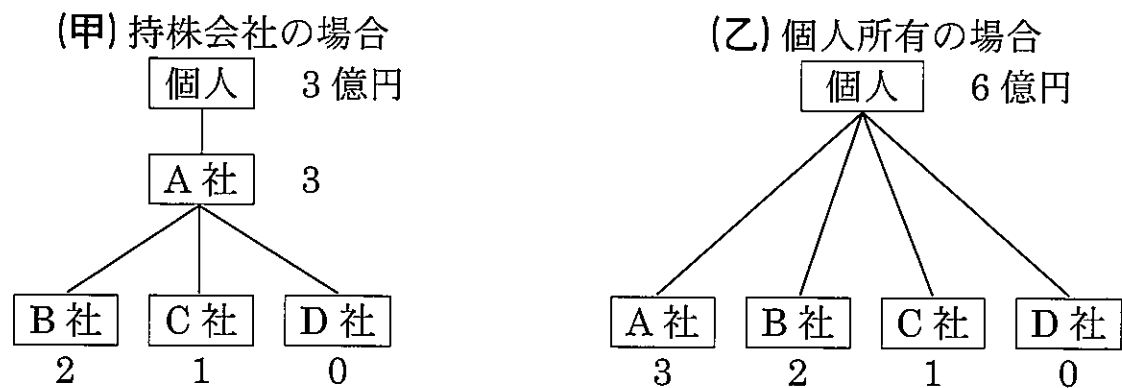
株式評価の二つの場合

H26.1.10

前提：A～D 社 資本金 1 億円

大会社 類似業種による評価額：A 社 3 億円、B 社 2 億円

C 社 1 億円、D 社 0（債務超過）



個人所有の場合、A～D 社の評価額の合計 6 億円となる。

株

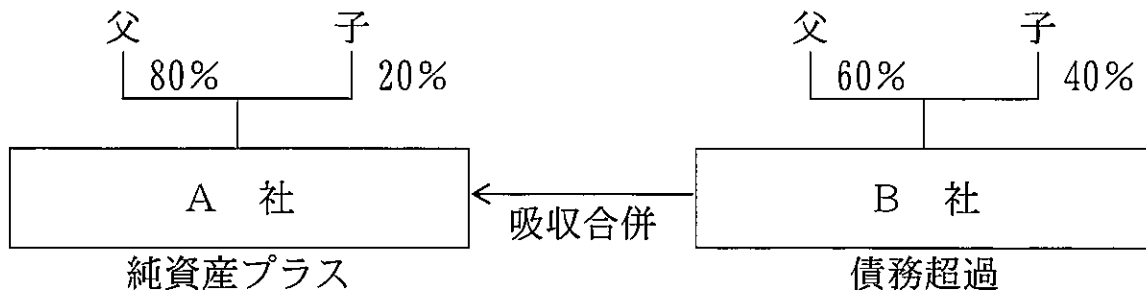
持株会社の場合、個人が所有する株式の評価総額は A 社のみの 3 億円となり、持株会社の方が有利。

A 社が B～D 社を保有しても、A 社の配当、所得、別表五(一)利益積立金は変わらない為、A 社株式の類似業種による評価額は 3 億円のままとする。

ただし、A 社が株式保有特定会社に該当する場合（株式保有割合が 50%以上）を除く。

Ⅲ. 実務での留意点

1. 無対価合併について



- (1) 子にみなし贈与の問題が生じ得る
- (2) 非適格合併となる
- (3) (2)により繰越欠損金の引継ぎができない

グループ法人税でいう完全支配関係とは、一の者（その者が個人である場合には、その者及びこれと特殊の関係のある個人）が法人の発行済株式の全部を直接もしくは間接に保有する関係とされているが、適格合併においては、個人の場合は一の者が個人一人に限定されている。

- (4) 本件については、A社の株主を父に集約したうえで、A社とB社の無対価合併を行うことにより繰越欠損金の引継ができる。(Nの場合)
- (5) 又は、B社株式のすべてを、A社が買取った後に合併を行えば適格合併ができると考えられる。
- (6) 債務超過会社との合併により、A社株式の評価額が引下がることが考えられる。(Tの場合要検討)
- (7) (4)～(5)については、合併に至った事情・背景等租税負担の減少以外の合併の理由等も説明できるようにする必要がある。

負担付贈与

(親)
土地取得 10億円
借入金

土地 10億円

借入金 10億円

(息子)
相続税評価 6億円
息子に贈与
支払 6億円相当

土地 6億円 ⊗

借入金 6億円

depreciation
↓

<負担付贈与とは>

4億円相当の相続財産の存在

これを防ぐために ⊗は実質価額 10億円を評価

⊗ 課税、負担付贈与を避ける、過当否認の節税防止のために導入された
規定である、所得税の節税防止のために導入された。

1 法人間の贈与

2. " 負担付 "

3. 法人-個人間の贈与

時価の2/3以上あれば
贈与者 (両者は、何れも
受贈者 贈与者の評価)

負担付贈与となり

時価額

時価額

計 59 所得税
贈与税

贈与税を避

贈与者 所得税

受贈者 贈与税

1. 負担付買取りと違 (4元、4.1以降)

時価10億円土地を借入金で購入し、
相対程価額 6億円程度の負担を付し買取りする
と同等

そうすれば、父兄同の相対財産が圧縮される

—— しかし、これは 相対程の場合も同様の圧縮になる

2. 1. の目的は、所得税の節税防止のために導入された違だから

10億円取得した土地を6億円で譲渡し、

父兄同の譲渡損を計上する

それ 譲渡損失を他の所得と同等する節税を行う

3. しかし、2021年4月1.1以降、土地の譲渡損と 他の所得の同等は禁止されている

4. 所得税法 59条は、時価の2分の1以上の価格での譲渡について

- ・ その価格での譲渡を認めるとしている
明書

5. しかし、タキシング・レベル、負担付買取りと違は決まっている

1. 最新のデジタル化がもたらす市場の変化

2020 12 28
(2020.10.12)

大田 弘子 氏

(1) 技術・ビジネスモデルの転換スピードが早い

普及のスピード

(2) 事業の担い手が拡大し 多様化

プラットフォームの台頭

(3) 事業のハコにプラットフォーム/店が閉ざれる

2. 技術革新により生まれる 財・サービスの普及率



⑧ ビジネスモデル

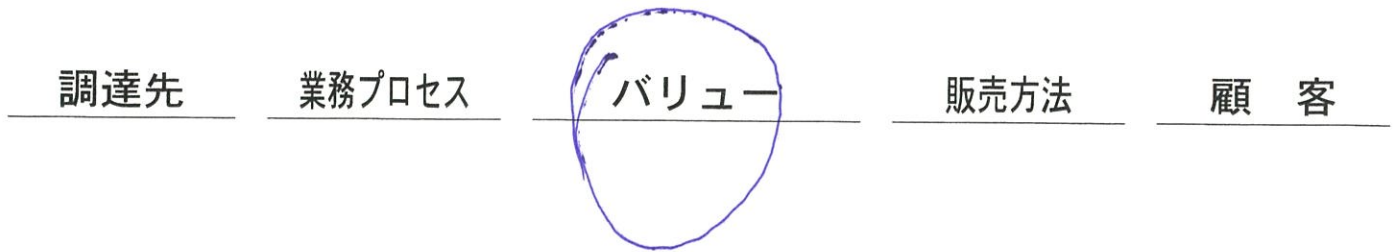
ビジネスモデル ✓

2020.12.21

6. 72-700 の 掲げ る 10 の 事 実

- ① 2-400 連点も 決断した 後の 2005 年 7 月
- ② 一つの ことを、とことん 掘り下げる 姿勢
- ③ 遅い けれど、速い 方向性
- ④ ソフトウェアも 民生品 ではなく 事業用
- ⑤ 集客を 増やす ための、100% の 努力 している こと
- ⑥ 事業を 始める とき、お金は 足りる
- ⑦ 世界中に 広がる 事業 がある こと
- ⑧ 集客の 2-3 は、100% の 確率 がある
- ⑨ 2-715 年 間、真剣に 仕事 している
- ⑩ 「すばらしい」 仕事 している

ビジネス・モデル



経営資源

チャネル

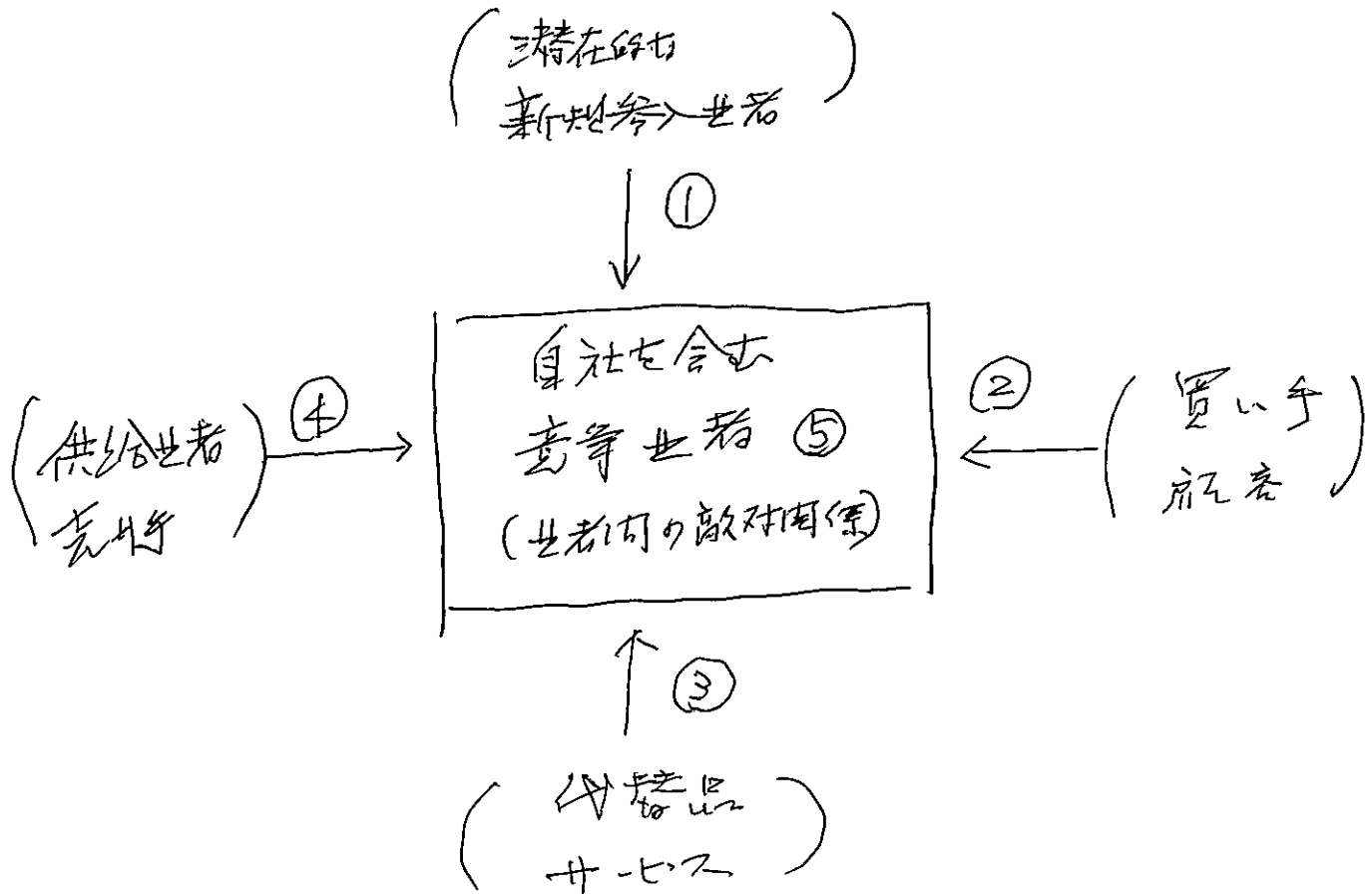
業務リスク

(仕入・支払・経費)

(売上・回収)

財務リスク

マイケル・ポーターの5つの競争要因モデル (5 フォースモデル)

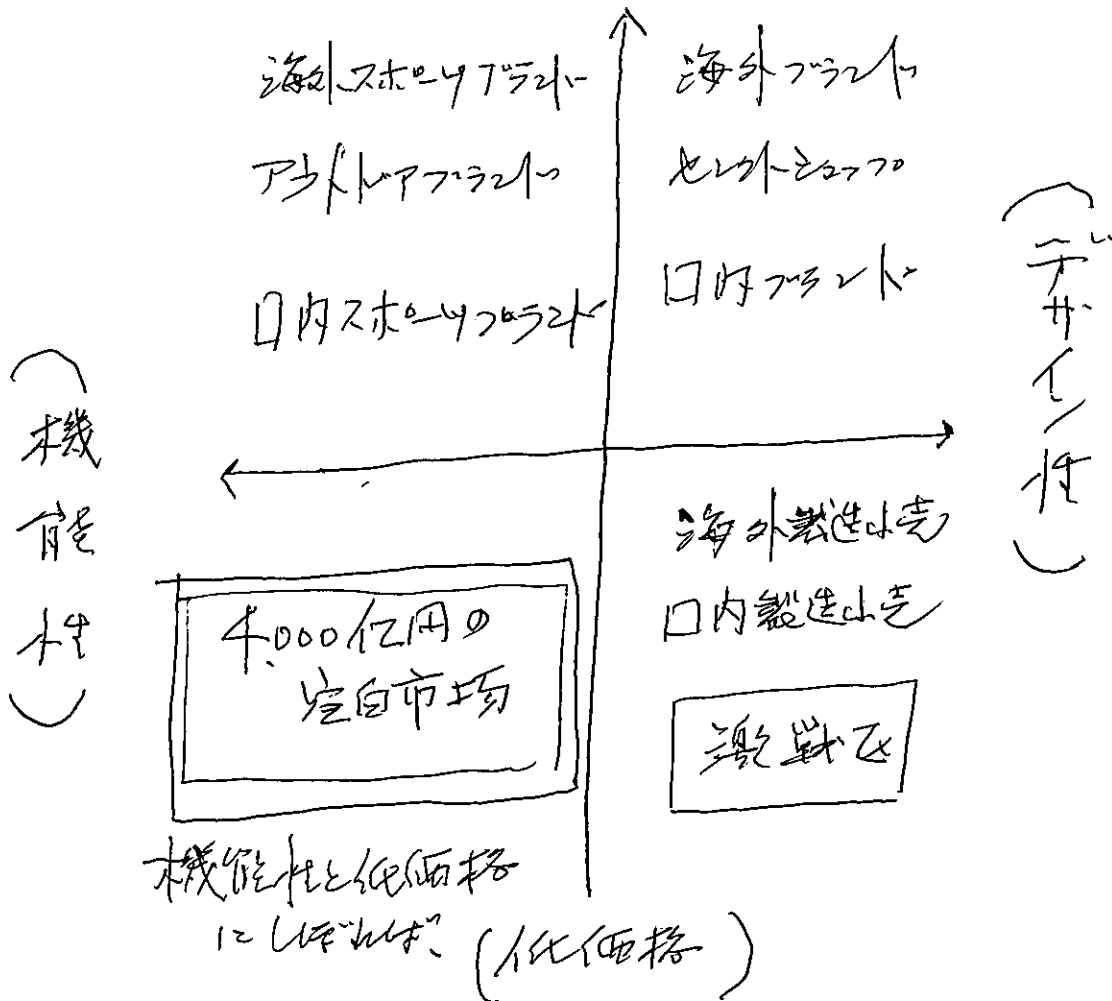


ワークマンの競争の客観的分析

- ① 新規参入の脅威はほとんどない
- ② 作業服の買い手は個人なので法人ほど強くない
- ③ 作業服の代替品の脅威はほとんどない
- ④ 供給業者 (売り手、生産者) の交渉力は強くない
- ⑤ 作業服市場は、他の代替品の競争がほとんどない

土屋孝弘の分析

(高価格)



自社の高機能化製品を

スポーツカー価格の4分の1以下

アウトドアカー価格の3分の1以下

会社を経営するとは、「未来に投資すること」

事業のあり方が、投資効果を加速させる

(リンネス・モデル)

受身

強制、ルール

たくさん目標

短い期限

トップダウン

事業成果にコミット

自発性

自分で目標設定

目標は一つ

期限なし

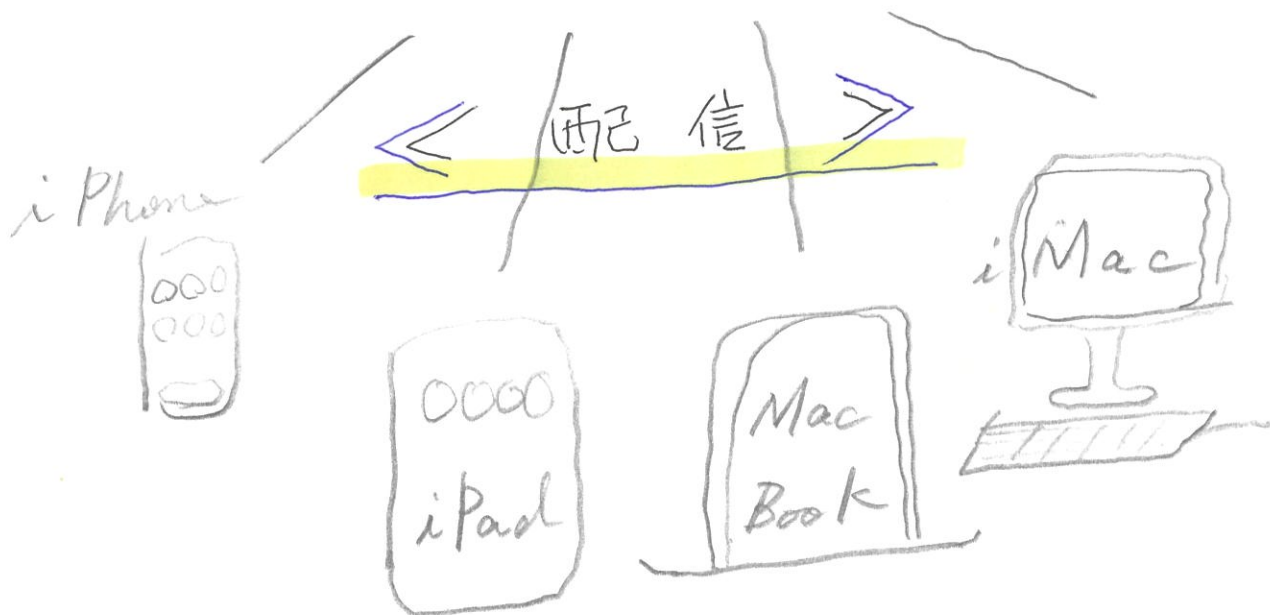
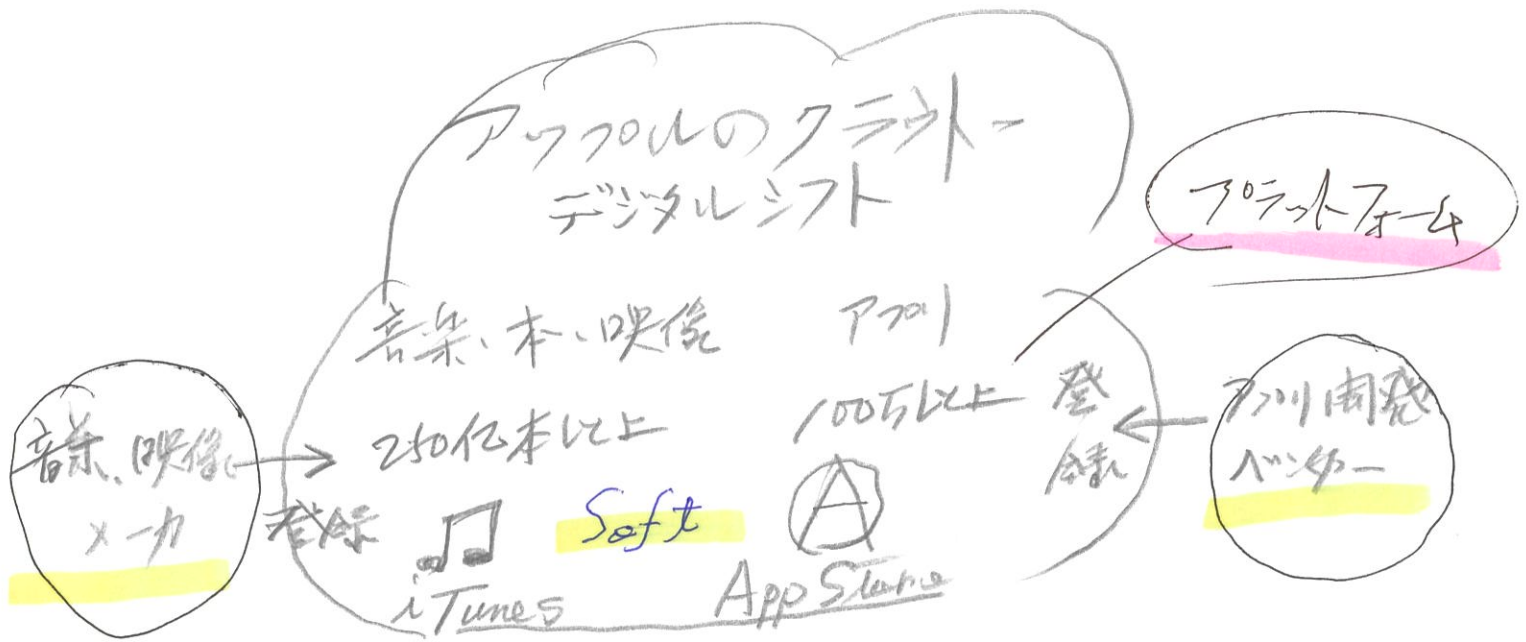
社員の知恵

社員待遇にコミット

制
上は制
上は制
上は制

少しづつ成果を積み重ねていく

土屋雄雄著 「フューチャー」 経営者必読



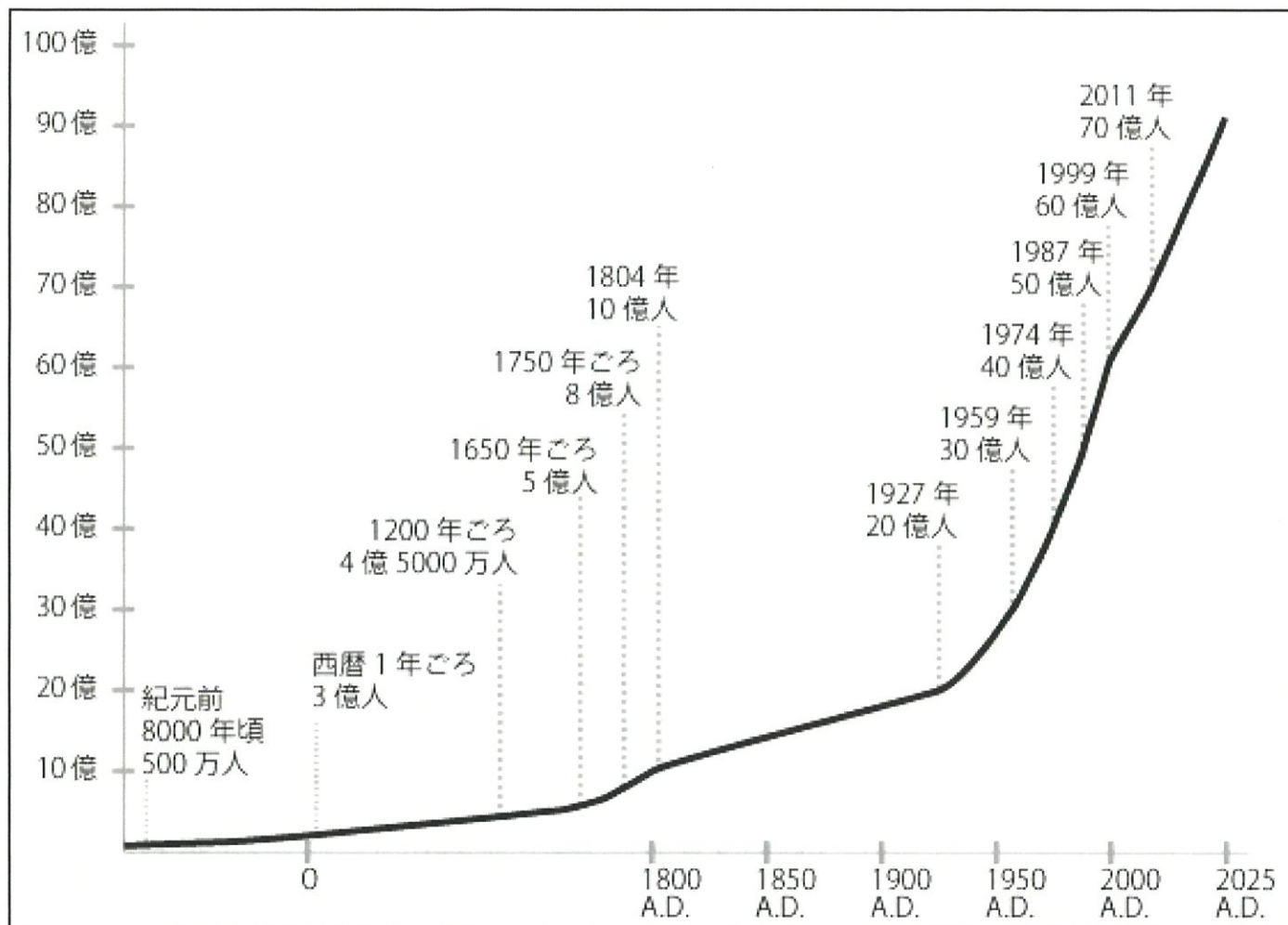
デジタル化にシフト

顧客の情報も集めることで、無限のサービスの展開

クラウド上の音楽やアプリの登録の進展

グローバル商品の各ハイパーマーケットの登録
ソフトウェアの時代

イートンカ量創路者



国連人口基金東京事務所

(PDFファイル)世界人口白書 2011

Population Today, February 1995

2011-08-05: catcatcat blog

Columbine High School Massacre

1万年前から18世紀までのデータはUNITED NATIONS POPULATION INFORMATION NETWORK (POPIN)の1995年のデータを参照にしました。

飛越の転契

昔の商売

（店内の
一割）

今の商売

（外の
集客の
一割）

有限（守りの商売）

（攻めの商売）無限

バイヤー飛越

編集飛越
全員

○情報も待っている

○国産情報浮

○月刊まで選取

○情報も取りに行く

○情報浮の周知

○自社企画も集

店舗飛越

店外飛越

来店客を見る

待ち姿勢

クレーム対応

マシナリを見る

自社配~~り~~出~~す~~

周囲を警戒区

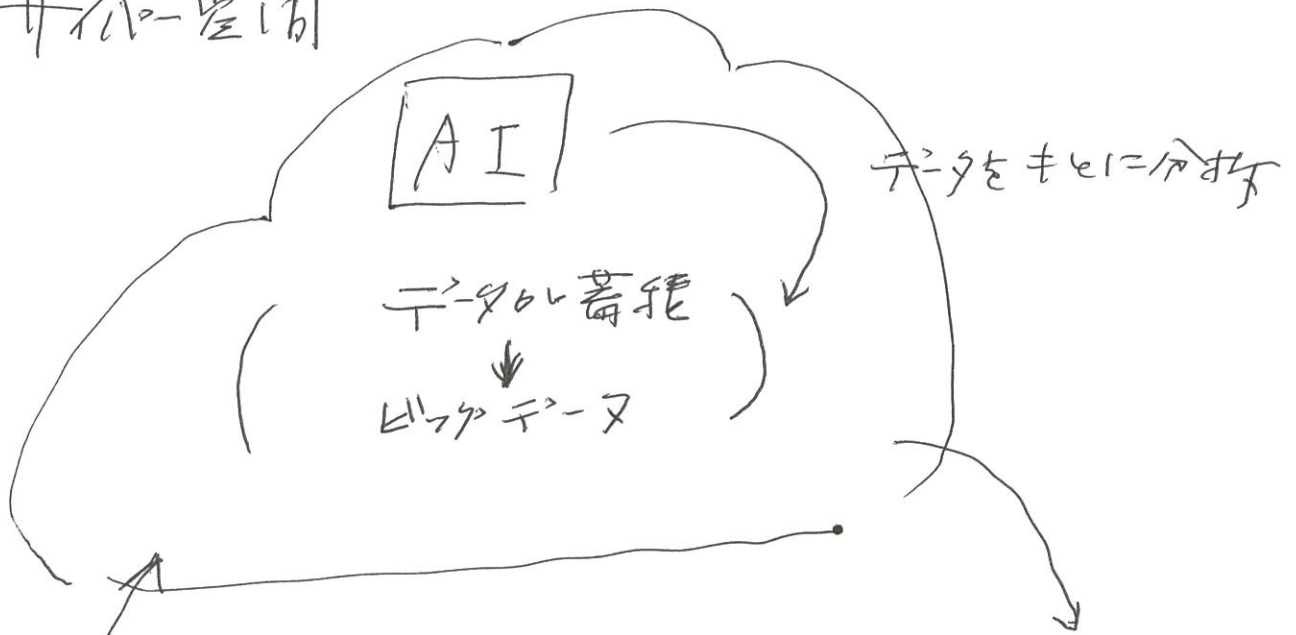
欠かさない

両方重要！！

欠かさない

デジタル時代の社会構想

サイバー空間



現実世界のデータを送信

分析や結果の利用、制御

(利活用)

EMS, スマート水利、自動運転

と平さの中を、機械、ヒト

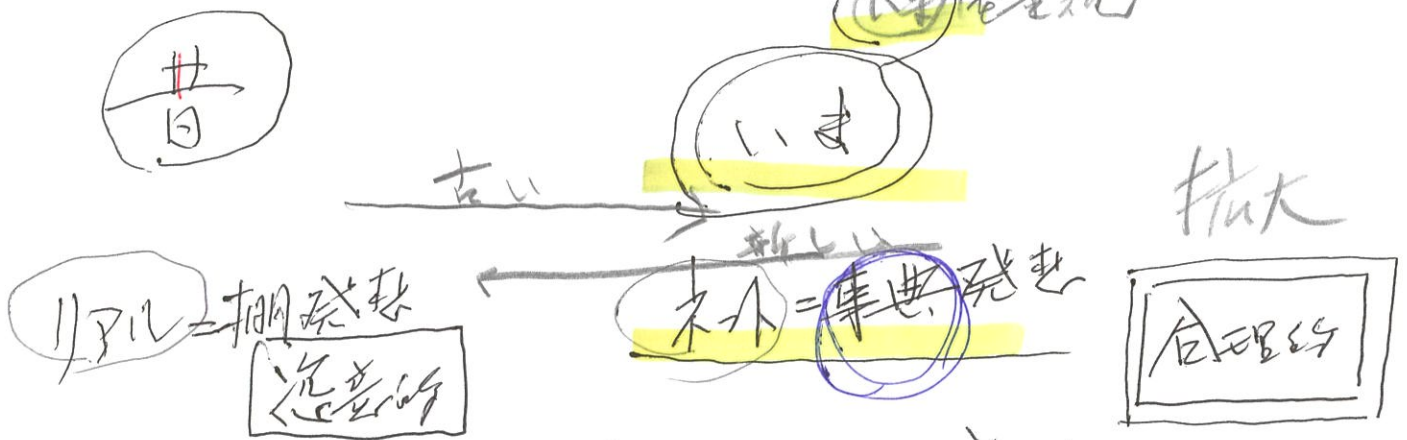


課題解決

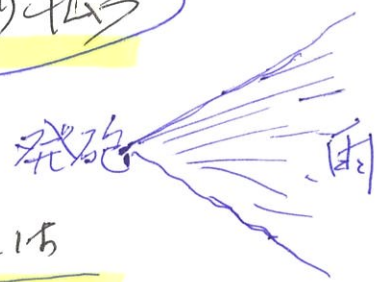
日本に押し寄せる四つのショック、デジタル化

- 1つ目 アイバシショック アベノミチと世界経済のゆらぎ
- 2つ目 グラウドショック 新たな自由なシステム
- 3つ目 AI/IoTショック 膨大なデータの集積 データを制する者がリアルとネットを制する
- 4つ目 教育ショック IT人材

いまの戦争のやり方 (太平洋戦争)
発想の変化 (西洋戦争から)
 (いまを重視)



新しい
 対等性の欠如
 素直な感情への訴え
 制約をとり払う



相対発想は
 取引先依存の
 経験発想

集団発想は
 全体を俯瞰する
 発想

静的 経済的 後回

動的 積極的 前向き

社会の変化

マーケット発想の品揃え

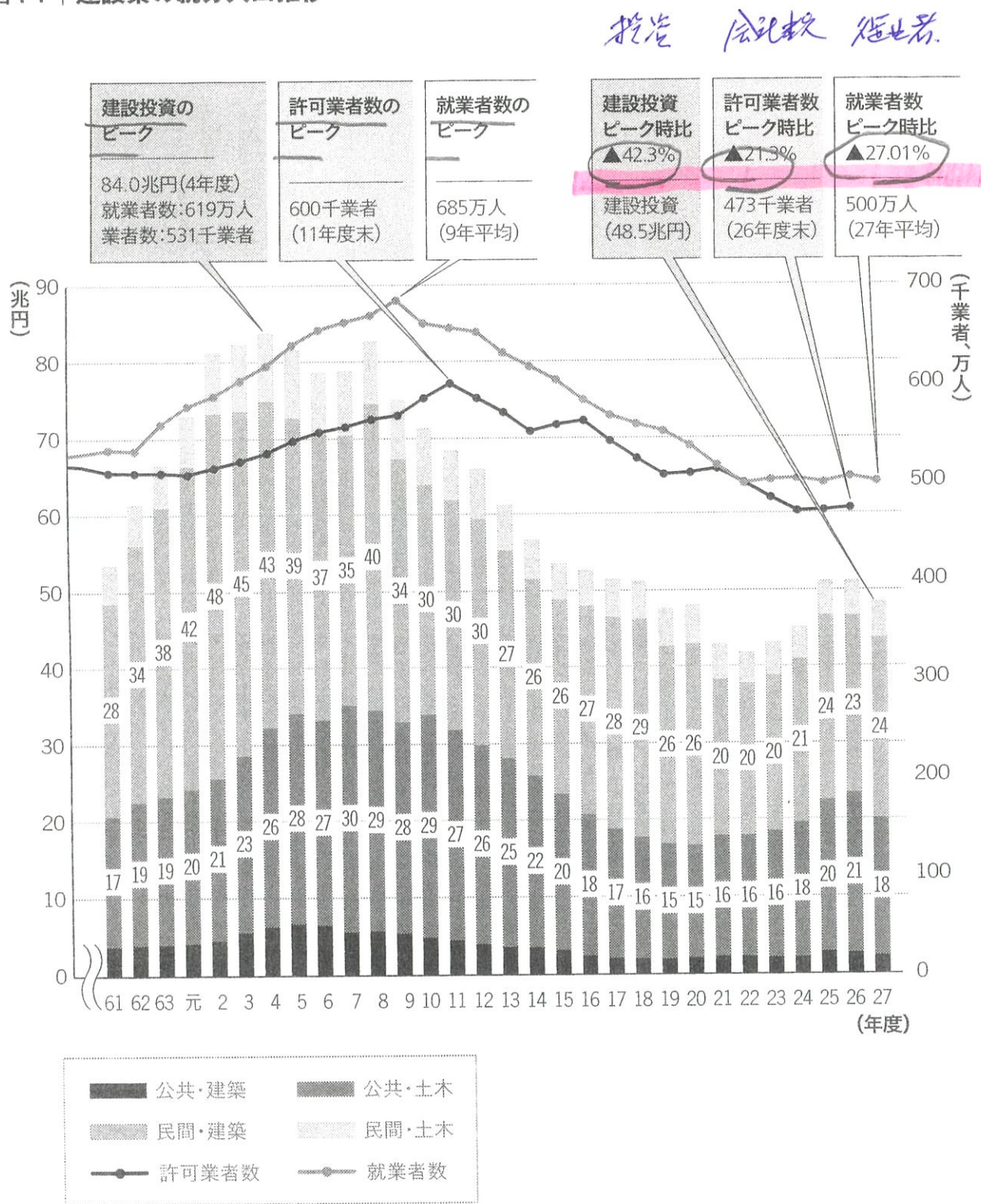
マーケット発想の品揃え

↑
 売り場回転に
 縛られた品揃え

木ノ木と同一空間の制約をなくす

店舗のあり方から
 改め主義は示される

図11 | 建設業の就労人口推移



出所:国土交通省「建設投資見通し」・「許可業者数調べ」、総務省「労働力調査」

注1 投資額については平成24年度まで実績、25年度・26年度は見込み、27年度は見通し

注2 許可業者数は各年度末(翌年3月末)の値

注3 就業者数は年平均。平成23年は、被災3県(岩手県・宮城県・福島県)を補完推計した値について
平成22年国勢調査結果を基準とする推計人口で遡及推計した値

*国土交通省サイト(<https://www.mlit.go.jp/common/001121700.pdf>)より昭和61年度以降を掲載

土屋松雄著
ワークマン「いかに」

1. 世界は微分で記述され、積分で読む。

物理というのは、自然界にある現象の中から
法則を見つけていくという学問である。

教式を教式のままに理解するのは、ハートン
といふ行為である。

2. 微分とは、今の所に目に見えない小さなものを
顕微鏡で見よとすること

積分とは、今も積もれば山となるということ。

3. 我々は運動方程式に従っている

教科書には微分方程式である

$$m \frac{dv}{dt} = F$$

F は力 (Force)

m は質量 (mass)

v は速度 (velocity)

t は時間 (time)

d は差 (difference)

3. $v = -w \int \frac{1}{m} dm$ 宇宙開拓

エドワード・ハレー、ハレー彗星

世界の、微分が認知されたきっかけ

12月25日 彗星の到達

ニュートンの誕生の日

4. 数学は、読まねにしろ、使うのをしろ、

シンボリックな力

エドワード・ハレーの運動方程式、 $m \frac{dv}{dt} = F$
が予測される。

数学を学ぶと、エドワード・ハレーの運動方程式

堀江貴文さん、トヨタの川上量生さん

エドワード・ハレー (世界最高の数学者)

エドワード・ハレー → 共通のルール

5. 数学は、世の中に存在するあらゆる物事や事象から、
一般のルールを抜き出してまとめたもの
物事の本質を見つけて出せる。
いろいろなモノの見方

6. 微分 積分 4つのステップ

1. 関数

2. 777

3. 傾き

4. 面積

2つの記号

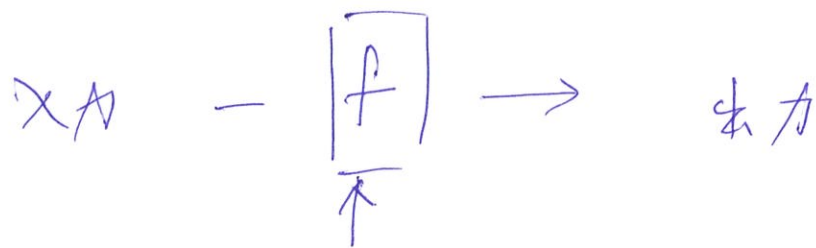
$\lim$ リミット (命令) 限界まで近づける

$\int$ インテグラル (命令) 加える。

微分 めがやちや小さな変化を "見る" こと

積分 めがくちや小さな変化を "足す" こと

7. 関数 — 手品のマジックボックス f



変換装置の役割を知る

微分は、元の変換装置に似た特徴があるものを採る

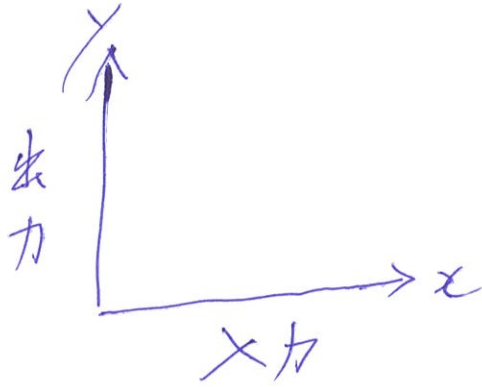
$$\begin{array}{rcl}
 1 & \xrightarrow{1 \times 2 + 1} & 3 \\
 & \boxed{f} & \\
 3 & \xrightarrow{3 \times 2 + 1} & 7 \\
 -2 & \xrightarrow{-2 \times 2 + 1} & -3
 \end{array}$$

$$\begin{aligned}
 \boxed{\text{出力}} &= 2 \times \boxed{\text{入力}} + 1 \\
 \downarrow & \quad \downarrow \\
 y &= 2x + 1
 \end{aligned}$$

$\boxed{f}$ といふ箱の中、 $x \in \mathbb{R}$ が入ると

$f(x)$ と書く。

8. グラフ → 入力と出力結果の関係を
図に表したものを

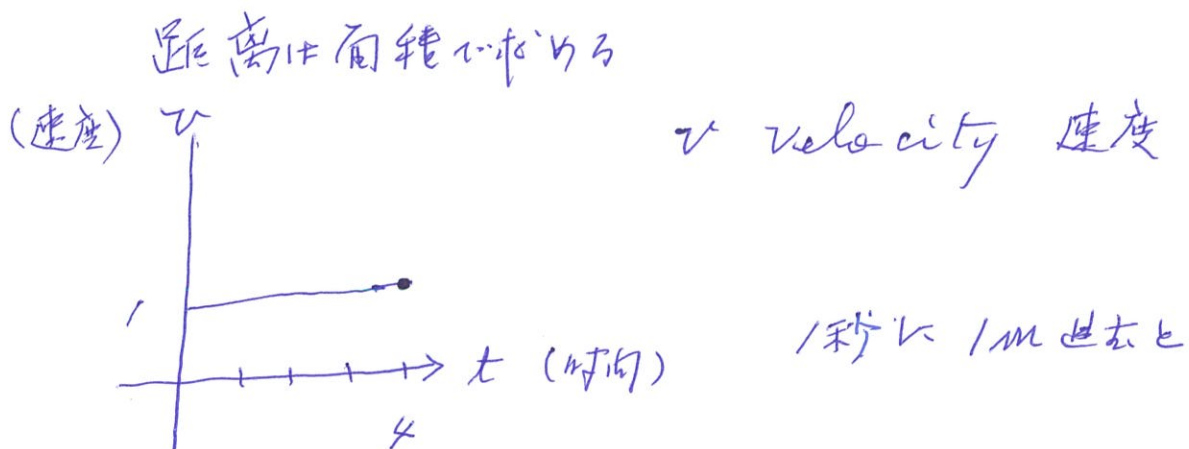


$y = f(x)$ — x の中にはいろいろな値を入力した結果
表れる

傾きとは何か、

微分は傾きを表すもの

9. 面積とは何か



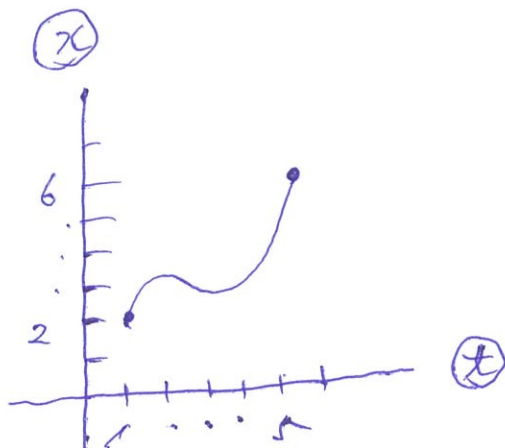
長方形の縦 $\times$ 横の値は 距離

長方形の縦 $\times$ 横の値は 面積

(速度は一定) $\rightarrow$

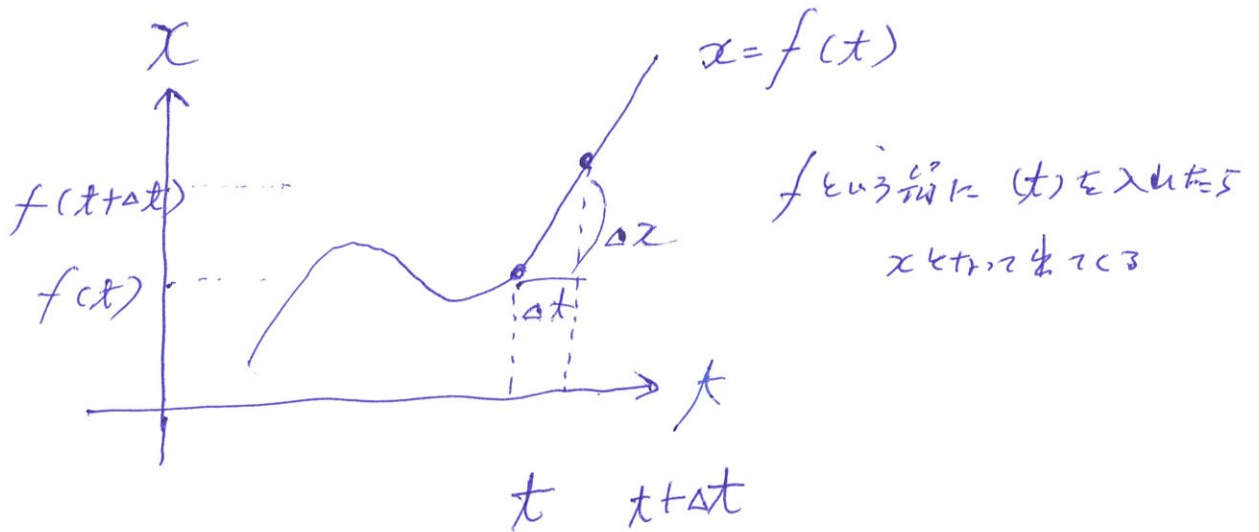
距離は面積で表す

等速でないとき、微分・積分の登場 (後述)



10. 微分とは何か (極限 小さな変化を見る こと)

変化は 2つの数値を比べてはじめて実感出来る



△ 変化を示す記号で、デルタという

Δx 位置の変化

Δt 時間の変化

$t + \Delta t$ t よりも Δt たがった変化したところ

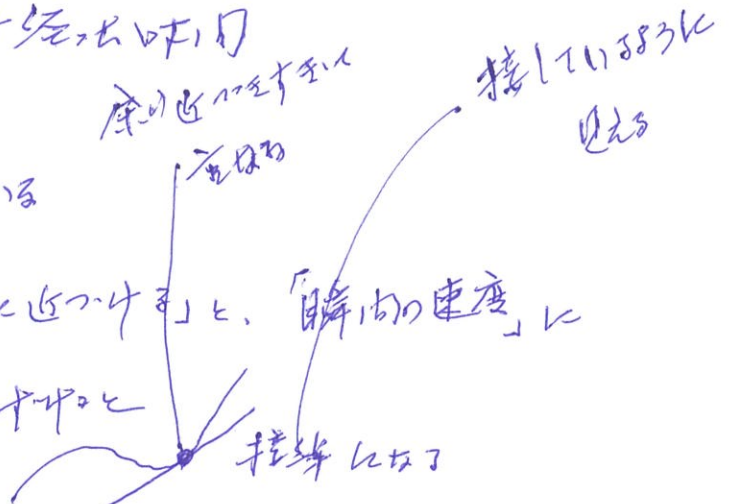
他の文字と一緒に使う

t よりも Δt たがった経路の時

瞬間の速度は接線からわかる

2点を「めだくちまに近づける」と、「瞬間の速度」に近づく。

足るに近づけると



11, $\lim$ を使って瞬間の速度を計算する

$\lim$ 限界にまで近づける
 $x \rightarrow a$

接線の傾きは

$$\lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\Delta x}{\Delta t} = \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{f(t+\Delta t) - f(t)}{\Delta t}$$

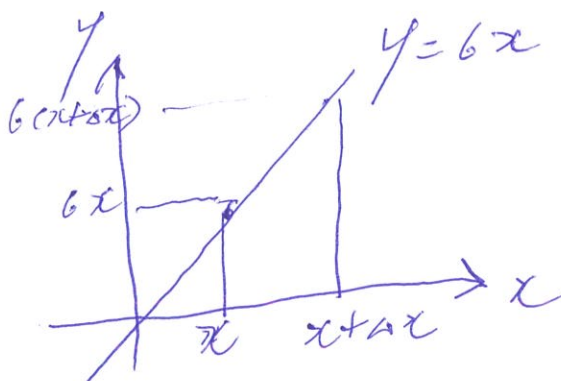
瞬間の速度を表す

$$\lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\Delta x}{\Delta t} = \frac{dx}{dt} \quad x \text{ を } t \text{ に微分する}$$

d is difference の略文 $= \Delta$ 変化

$y = 6x$ のグラフ

$f(x) = 6x$ とし右に移動 $y = f(x) \Rightarrow y, 37$

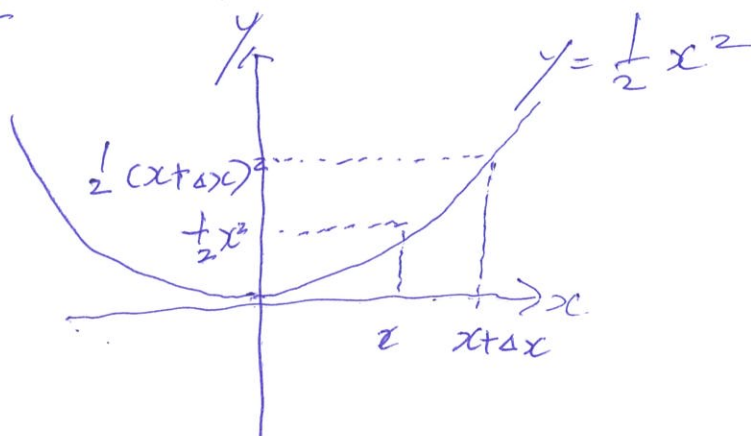


$$12 \frac{dy}{dx} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{\Delta y}{\Delta x} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{6(x+\Delta x) - 6x}{\Delta x}$$

$$= \frac{6 \Delta x}{\Delta x} = 6 \quad \text{--- この筋肉も元々から 62.5g という意味。}$$

$\lim_{\Delta x \rightarrow 0}$ 1つ Δx を 0 まで近づけていきながら

lim のれは残す必要が $n \rightarrow \infty$

$$y = \frac{1}{2} x^2 \quad \text{微分して R.}$$


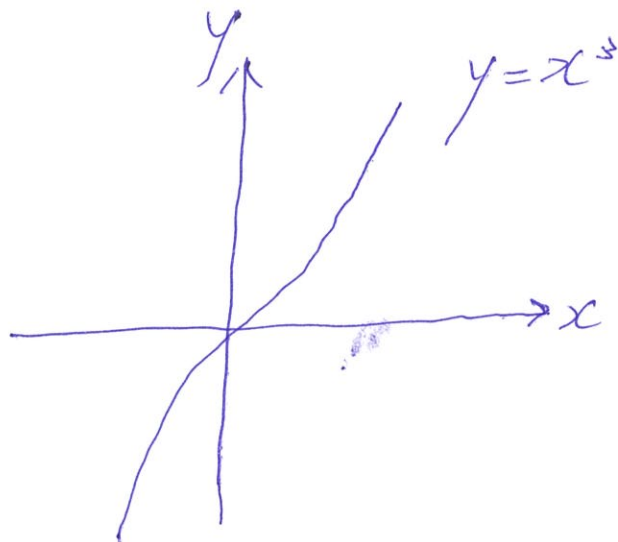
$$\frac{dy}{dx} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{\frac{1}{2}(x+\Delta x)^2 - \frac{1}{2}x^2}{\Delta x}$$

$$= \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{\frac{1}{2}(x^2 + 2\Delta x + \Delta x^2) - \frac{1}{2}x^2}{\Delta x}$$

$$= \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{f(x) + \frac{1}{2} \Delta x^2}{\Delta x} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} x + \frac{1}{2} \Delta x$$

$$\bullet \lim_{\Delta x \rightarrow 0} (x + \frac{1}{2} \Delta x) = x + \frac{1}{2} \times 0 = x$$

13. $y = x^3$ を微分 $\frac{dy}{dx} \in \mathbb{R}$.



$(a+b)^3$ は $(a+b)$ を 3 回かけるのと同じで、

1 回と 2 回かける = a と b と $\frac{1}{2}$ 回

$(a+b)^3$ を $(a+b) \times (a+b)^2$ とする。

$(a+b)^2$ は $a^2 + 2ab + b^2$

これを $(a+b)$ にかけると

$$(a+b) \times (a^2 + 2ab + b^2)$$

$$= a^3 + 2a^2b + ab^2 + a^2b + 2ab^2 + b^3$$

$$= a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$$

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{(x+\Delta x)^3 - x^3}{\Delta x}$$

$$= \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{x^3 + 3x^2\Delta x + 3x\Delta x^2 + \Delta x^3 - x^3}{\Delta x}$$

$$= \lim_{\Delta x \rightarrow 0} [3x^2 + 3x\Delta x + \Delta x^2] = 3x^2$$

14. x^n を微分すると, nx^{n-1} になる

世界には微分法と似たものに使われているか?

株価の分析にも微分が使われている。



グラフ化

急激に上がる点

急激に下がる点

① 極点

高い山の頂点

極大

低い谷の底点

極小

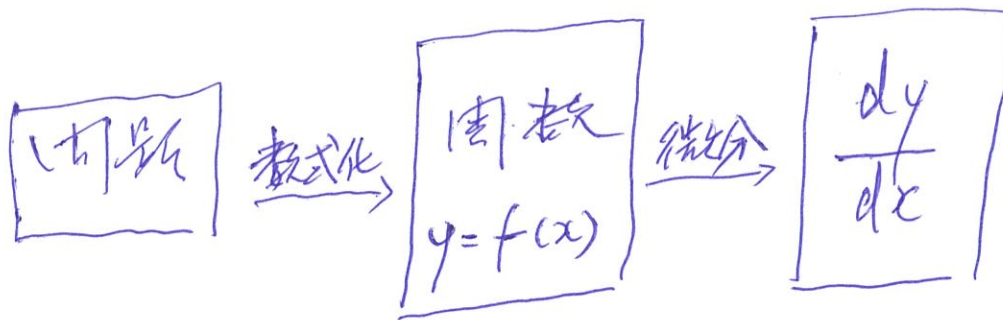
株価のデータをすべて追いかけても、その微分、

すなわち 株価の傾きを見てもよいだけ、

その値が、ゼロ になった瞬間が 株価の天井や底値だ
とわかるわけだ。

15、要素 要素の地点への微分を調べ子ニセにあり
傾向を掴み取り、未来の予想をする

微分のプロセス



まずは、何か解決したい 問題 を 数式 に直して
関数 にする。そしてその関数を 微分 し、
その値を 読み取 り分析する。

変化 には、重要な情報がいっぱい含まれている。

変化を知る



微分の定石

(変化の節目と瞬間を把握する)

2019.05.01
2019.01.01
2018.12.17 1
2018.11.05
H30.9.5
H30.7.2
H30.5.2
会計と経営のブラッシュアップ

2020.12.28 2019年3月5日
2020.11.09 山内公認会計士事務所
2020.11.02 2019.07.01
2020.08.24 2020.07.15

次の図書等を参考にさせていただきました。

(微積分のはなし 大村平著 1985.3 日科技連出版社刊)(予測の技術 内山力著 2017.3SB クリエイティブ刊)

(微分・積分を知らずに経営を語るな 内山力著 2012.3PHP より)

(Excel で学ぶ微分積分 山本将史著 H24.8 オーム社)(鄧小平 エズラ・ヴォーゲル 益尾知佐子訳 日経 2018)

(新訳 法華三部経 鹿野明歌著 H29.3電子書籍版発行)

I 世の中(顧客)の変化

変化の観察と追求

(虚空) 無限、平等、透明の空、諸行無常の中を眺め、(生住異滅)を把握する
世の中を捉えめ

1. 平家物語

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり、沙羅双樹の花の色、おごれる者も
久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。盛者必衰のことわりをあらわす。

形も、位置も、温度も、世相も、価値観も...すべてが変化する。平静に、考え。
微分は変化の節目と瞬間(導入期、成長期、成熟期、衰退期)を把握する。

人の一生(生住異滅) 生 住 異 滅 (生と土) 始まり終わり
微分は変化の仕方を勉強するものである。

微分は、どう変化しているか(変化のようすを調べる)(ライフサイクル)

この関係、どのようにして積分の計算に微分が入って来たか。

積分は、その結果どうなったか(動いた結果)(グラフの面積)

微分は変化を分析すること、変化をとらえる。(動き)接線によって(台風の変化)
瞬間の変化量(カメラのシャッターで写真)微分は瞬時の極限の

変動する変化量(電車の中で感じる揺れ)
変化率を求めると

変化している瞬間の動き、傾きは、1点で接する接線で表す。

接線は、曲線に対して1点のみで接する。

このことの発展が積分の計算に貢献(待望の到来)することになる。

中国は変化している

$y = ax^2 + b$ 21Cの初めにおいてアジアの次の変化を理解するために最も役に立つのは

鄧小平を理解することである。アジア最大の問題は中国であり、その中国

その変化に最も影響を与えたのは鄧小平であった。導関数

導関数は鄧小平は、中国の次の変化を体現した接線であった。中国の明日を捉える方法がある。

$$y' = (ax^2 + b)' = 2ax$$

導関数の極限の変化率

関数の曲線上のある一点での変化率を求めると

世の中、社会、経済、生産の変化 現象 (曲線)

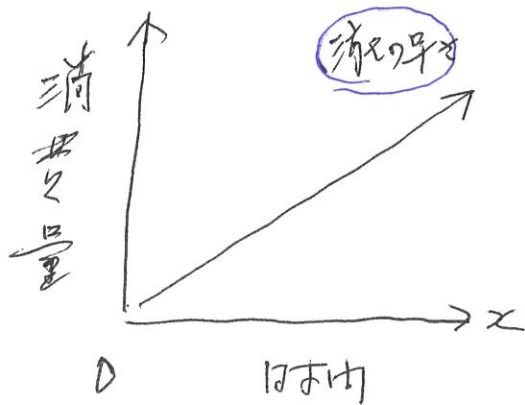
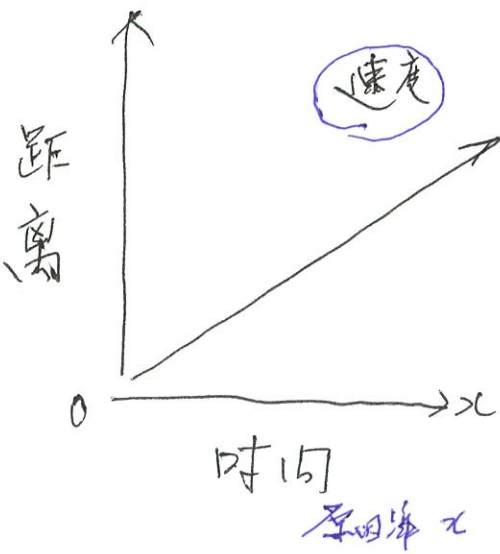
この曲線の理解のために
微分は 変化率を示す導関数を求める

$$y' = f'(x) \text{ は、勾配の値}$$

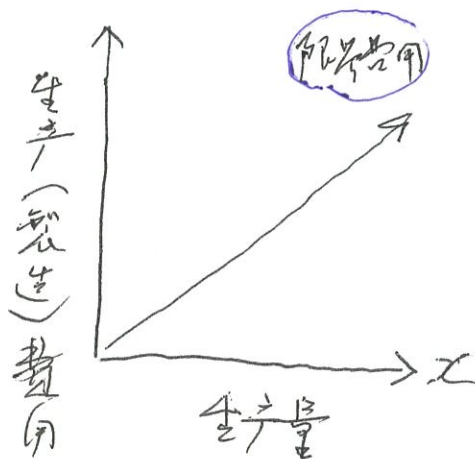
速度を表す

その原因から結果を見て状況を理解する
(x軸の値) (y軸の変化)

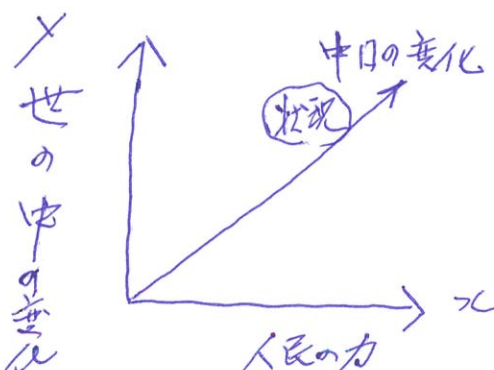
結果 y



$y' = f'(x)$ は、x と y と共に
変化する 消費の早さ
を表す



$y' = f'(x)$ は、生産量の x と
共に変化する 限界費用 (1 単位の
生産量を得るのに要する費用) を表す



導関数によって関数の増減がわかる。

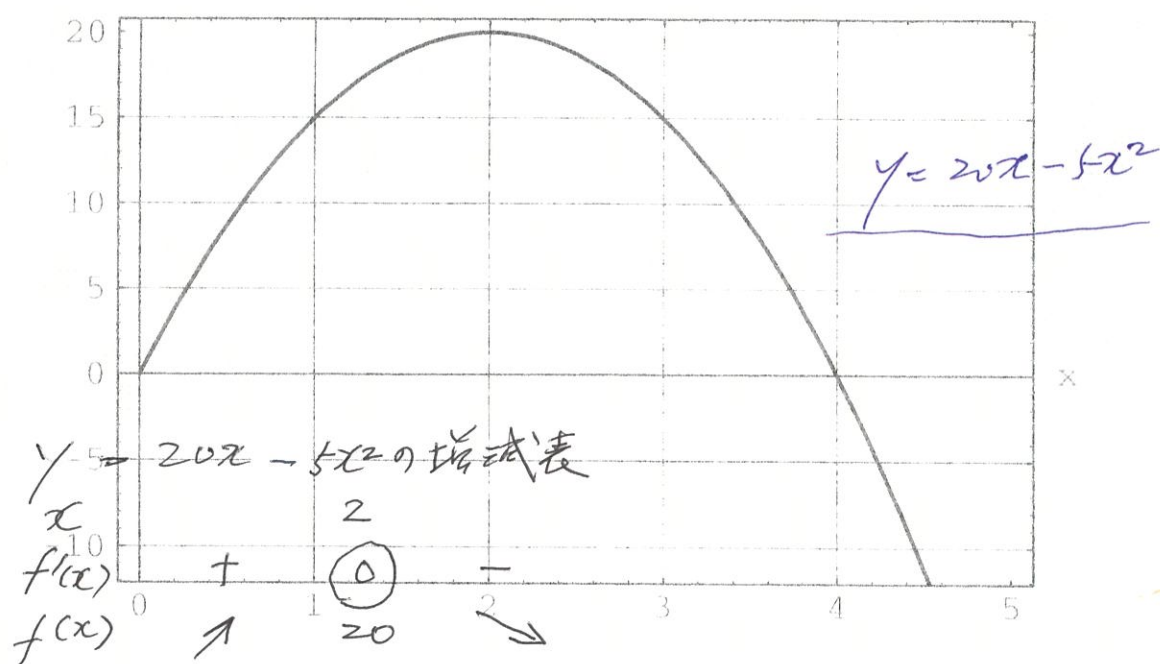


図 2.8 花火の打ち上げ (2) 2.6

関数と導関数の例

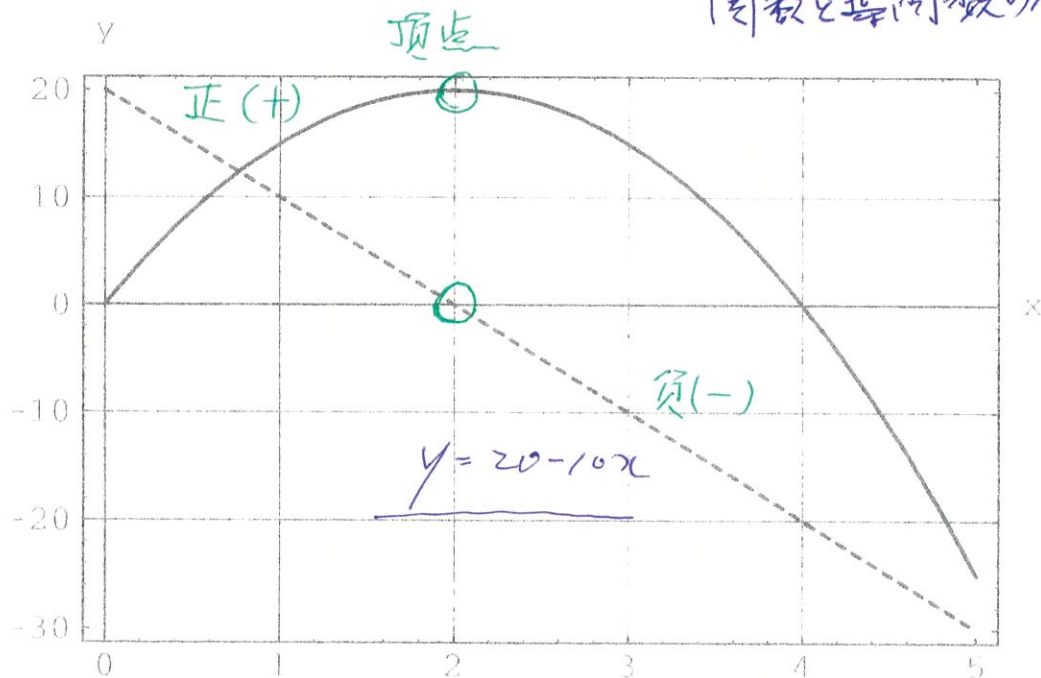


図 2.9 変化率の正負と関数の増減 2.7

いる。しかも、 $f'(x)$ の値が大きいほど、 $f(x)$ の増え方が急であるし、接線の傾きが大きい。

逆に、 $x > 2$ においては $f'(x)$ の値は負で、そこでは

関数
がある

変化を調べる

関数を微分する
変化率(接線の傾き) → 微分の計算

$$\frac{f(b)-f(a)}{b-a} = \frac{f(a+h)-f(a)}{h}$$

Date 〇

微分とは

→ 変化率(極限の傾き)を求めると接線になる

関数の曲線上の点における変化率(接線の傾き)を求めること — 微分の計算

現象

その微分係数を関数の変域全体で求め、元の関数から新たな関数(導関数)

現象の説明

を求めること、関数を微分することになる。

$$\frac{f(b)-f(a)}{b-a} = \frac{f(a+h)-f(a)}{h}$$

$h = b - a$
 $b = a + h$ とすると

変化率 → 傾き

微分係数

関数 $y = f(x)$ の $x = a$ における平均変化率の極限値。
すなわち $x = a$ における変化率 $\{f(a+h) - f(a)\} / h$ において
 h を 0 に近づけた場合の極限値が存在すれば、それを a における
 $f(x)$ の微分係数といい、 $f'(a)$ と表す。

なお、 a を変数として考え、 $f'(x)$ を導関数という。

関数の極限

変数 x が、 a の値に限りなく近づくときに、
関数 $y = f(x)$ が b に限りなく近づくとき、

$$\lim_{x \rightarrow a} f(x) = b$$

$x \rightarrow a$ のとき、 $y = f(x)$ は b に収束し、 b を極限値と呼ぶ。

関数のある点の微分とは、→ 変化率を求める →

$$\frac{f(b)-f(a)}{b-a} \rightarrow \frac{f(a+h)-f(a)}{h}$$

$h = a - b$ とすると

→ $h \rightarrow 0$ の極限は微分係数 $f'(a)$ →

$$f'(a) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+h) - f(a)}{h}$$

処理図

(先上りの部を示す関数)

$$y = uv = f(x) \times g(x)$$

価格 $u = f(x)$ 数量 $v = g(x)$

(先上りの変化を表す導関数)

二つの積を表わす関数の導関数を求める

$$y' = uv' + u'v$$

$$= f'(x) \times g(x) + f(x) \times g'(x)$$

処理条件

導関数 $y' = dy/dx$

$$u' = \frac{du}{dx} = f'(x)$$

$$v' = \frac{dv}{dx} = g'(x)$$

$$\Delta y = (u + \Delta u)(v + \Delta v) - uv$$

$$= u \Delta v + v \Delta u + \Delta u \Delta v$$

両辺を Δx で割る

$$\frac{\Delta y}{\Delta x} = u \frac{\Delta v}{\Delta x} + v \frac{\Delta u}{\Delta x} + \Delta u \times \frac{\Delta v}{\Delta x}$$

$$\therefore \frac{dy}{dx} = u \frac{dv}{dx} + \frac{du}{dx} v$$

あるいは

$$y' = uv' + u'v$$

$$= f'(x) \times g(x) + f(x) \times g'(x)$$

2つの関数の積の導関数を求めるには、片方を微分して、残りはそのまま掛ける

処理手順

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{f(x+\Delta x)g(x+\Delta x) - f(x)g(x)}{\Delta x}$$

$$= \lim_{\Delta x \rightarrow 0} g(x+\Delta x) \{f(x+\Delta x) - f(x) + f(x)\} \frac{g(x+\Delta x) - g(x)}{\Delta x}$$

$$= \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{f(x+\Delta x) - f(x)}{\Delta x} \cdot \lim_{\Delta x \rightarrow 0} g(x+\Delta x) + \lim_{\Delta x \rightarrow 0} f(x) \cdot \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{g(x+\Delta x) - g(x)}{\Delta x}$$

ここで

$$\lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{f(x+\Delta x) - f(x)}{\Delta x} = f'(x)$$

$$\lim_{\Delta x \rightarrow 0} g(x+\Delta x) = g(x)$$

$$\lim_{\Delta x \rightarrow 0} f(x) = f(x)$$

$$\lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{g(x+\Delta x) - g(x)}{\Delta x} = g'(x)$$

よって 2つの関数の積の微分は、

$$= f'(x)g(x) + f(x)g'(x)$$

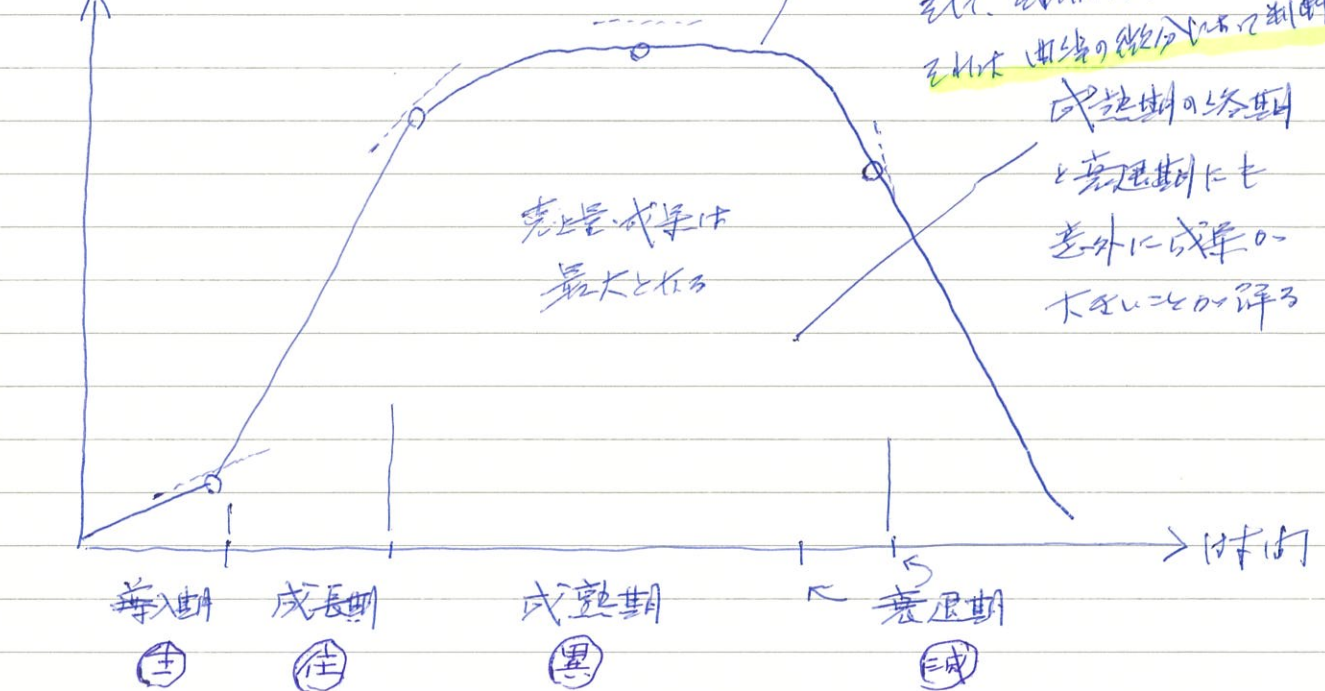
3つの関数の積の微分

$$\frac{d}{dx} \{ABC\} = A'BC + AB'C + ABC'$$

DATE

(産生) (住) (異) (減) 減と非減の差!
変化は、導入、成長、成熟、衰退のどの時期にも起る 1-2
 No.
 微分と積分の関係

売上・成果



○ 微分は変化の節目を表わす、明日を語る方法である

/// 積分は、カーブに囲まれた面積を表わす

フーリエ・テール・ニートンなどの天才は、早くも明りを語る方法を
明かにしたもので、その方法は、

「昨日を小さく切って (微分)、それを未来へとつなげていく (積分)」
というものである。

数学の本質は、「いかに (複雑な現象を) 単純化するか」 ということ

微分 - 小さく 積分 - つなげる

フーリエの音楽 - 微分すると - CDになる - CDを積分すると音楽になる

積分は、 - 今までの様子ものを - つなぐ (積)

大きな囲いをつくる

最大を求める

40m ある鎖を使って四角形の囲いをつくり、囲いの中になるべくたくさんの人を入りたい。

ある一辺の長さを x とすると、反対側の辺も x であるから、別の辺の長さは $\frac{40-2x}{2}=20-x$ となる。

< 囲いの面積 > $= x(20-x) = 20x - x^2$

ここで面積を y とすると、

y は x の 2 次関数 $y=20x-x^2$ となる。

y を微分すると、 $y' = -2x+20$ となる。

頂点は傾きが 0 なので $y' = 0$ とすると

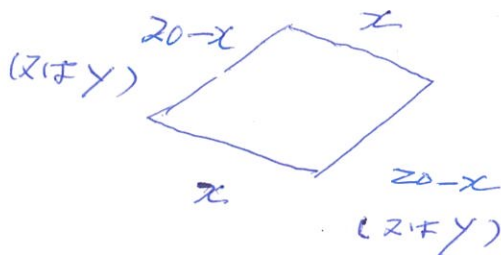
$y' = 0 = -2x+20 \rightarrow x=10$ となる。

その時 $y=20x-x^2=100$ となり

頂点は $(10, 100)$ となる。

一辺の長さ x が 10m までは順調に面積が大きくなり、10m を越えると逆に下がってしまう。

すなわち、頂点、つまり一辺の長さが 10m のとき面積が 100 m^2 で最大となる。



$$\begin{aligned} 40 &= 2x + (40-2x) \\ &= x + (20-x) \end{aligned}$$

面積 y は x による関数

$$y = x(20-x) = 20x - x^2$$



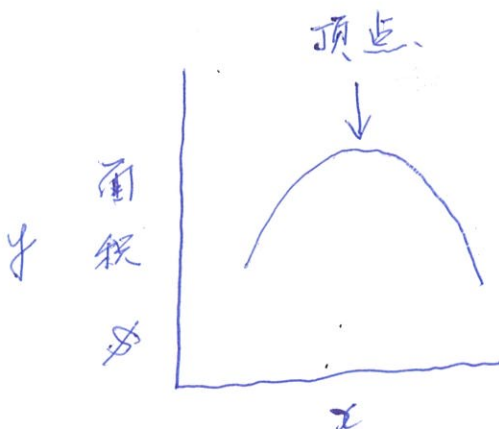
微分すると、 $y' = -2x + 20$

頂点は傾きが 0 となる。 $y' = 0$

$$y' = 0 = -2x + 20 \rightarrow x = 10$$

$$y = 20x - x^2 = \rightarrow y = 100$$

頂点は $(10, 100)$ となる



○ $f(x) = x^3 - 4x + 2$ を微分せよ

これを微分係数の式に代入して

$$f'(a) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+h) - f(a)}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{(a+h)^3 - 4(a+h) + 2 - (a^3 - 4a + 2)}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{h(3a^2 + 3ah + h^2 - 4)}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow 0} 3a^2 + 3ah + h^2 - 4 \quad h \neq 0 \text{ として}$$

$$= 3a^2 - 4$$

つまり $f'(a) = 3a^2 - 4$

○ 導関数

微分係数は、ある一点での接線の傾きである。

これは関数の増減の割合である。

この微分係数を定義域全体で求めると、

元の関数の増減の割合を表す、新たな関数になる。

この操作を導関数を求めると呼ぶ。

$$f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} \quad \text{と書く}$$

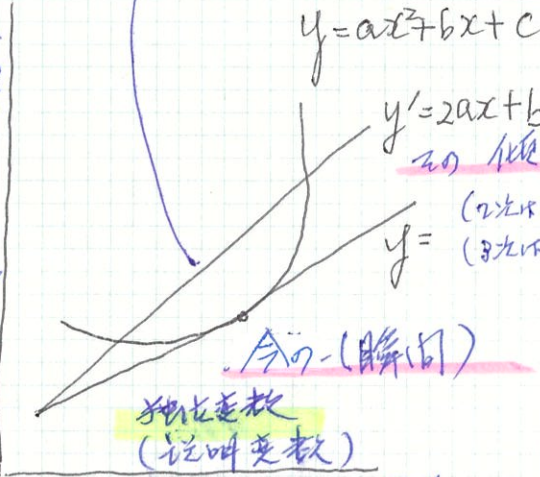
(A) $\frac{dy}{dx} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{\Delta y}{\Delta x} = \lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{f(x+\Delta x) - f(x)}{\Delta x}$

処理図

処理手順

従属変数

(被説明変数)
知らないうちの



将来の
平均的な動き (平均速度)
(落下した時間と距離) — 将来を現す

速度の変化、速さ (距離の長さ)
(各時点での落下の速さ) — 現在の速さの
— 傾斜

加速度
(瞬間的な動き) — 傾斜

又小平... 中門を豊か、強い口にする。その方法もどしたかすは別と人
戦術的な方向性を示したから、12点を一つにまとめていく、3点で僅差をリベンジ

処理条件

接線は中門の明日を示すもの、将来は2次曲線か、3次曲線か、対数曲線

関数

速さ、距離を表す関数

$$y = f(t)$$

流れ
将来

導関数
傾斜

位置の変化、速度の変化、速さ
変化の傾斜

$$y' = f'(t)$$

変曲点
傾斜

接線
瞬間

加速度
傾斜の傾斜、その接線 $y'' = f''(t)$
 $y = f(t)$ の 傾斜は導関数 y' である
その時の速度の傾斜

傾斜

1mの高さから、初速15km/秒でボールを真下に投げ下ろす。

t秒後のボールの高さは、

$$y = -\frac{1}{2} 9.8 t^2 + 15t + 1 \text{ (m)} \text{ — 将来}$$

このとき t秒後のボールの速さは、

$$y' = -9.8t + 15 \text{ (m/秒)} \text{ — 傾斜}$$

傾斜
加速度は、

$$y'' = -9.8 \text{ (m/秒}^2\text{)} \text{ — 傾斜}$$

1957年 スワグマンの会議の際、
フルトンが回想にふれば、「毛は羽を、指は爪の中を
掘る、将来有望なメンバーと選んでいた」

（生息地を）

重要なものがないものを（ムシ）にやるようにする

関数の極限

① $\frac{1}{x} = 0$ ($x \rightarrow \infty$ のとき)

② $x \rightarrow 0$ ($x \rightarrow 0$ ではないとき)

x が限りなく / に近づくとき、 $2x+1$ は限りなく 3 に近づく。

$x \rightarrow 1$ $f(x) \rightarrow 3$ $x \rightarrow a$ のとき、 $f(x) \rightarrow b$ を、

$\lim_{x \rightarrow a} f(x) = b$ と書き、 b を $f(x)$ の極限(値)といふ。

④ x が限りなく ∞ に近づくとき

⑤ x が限りなく 0 に近づくとき

(公式)

$\frac{2}{x} + 1$ は限りなく 1 に近づく

$x+1$ は限りなく 1 に近づく

$\lim_{x \rightarrow a} f(x) = \alpha$

$\lim_{x \rightarrow a} g(x) = \beta$ とするとき

$\lim_{x \rightarrow a} \{f(x) \pm g(x)\} = \alpha \pm \beta$

(1)

$\lim_{x \rightarrow a} \{f(x) \cdot g(x)\} = \alpha \cdot \beta$

(2)

$\lim_{x \rightarrow a} \{f(x) / g(x)\} = \alpha / \beta$ ($\beta \neq 0$)

(3)

$\lim_{x \rightarrow a} \{c f(x)\} = c \alpha$

上下同様に $\frac{1}{\sqrt{1+x} + \sqrt{1-x}}$ を (4)

⑥ $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sqrt{1+x} - \sqrt{1-x}}{x} = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{1}{x} \left\{ \frac{(1+x) - (1-x)}{\sqrt{1+x} + \sqrt{1-x}} \right\}$

x は 0 に近づくとき

式の分子を 0 に近づける

$= \lim_{x \rightarrow 0} \frac{2x}{x(\sqrt{1+x} + \sqrt{1-x})} = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{2}{\sqrt{1+x} + \sqrt{1-x}} = 1$

又は、 x が 0 に近づくとき

⑦ $\lim_{x \rightarrow \infty} (\sqrt{x^2 + 2x - 3} - x + 1) = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{(x^2 + 2x - 3) - (x - 1)^2}{\sqrt{x^2 + 2x - 3} + (x - 1)}$

⑧ $\frac{x^2 + 2x - 3}{x}$ は 0 に近づく

⑨ $4x - 4 = 4(x - 1)$ と $x \rightarrow \infty$ のとき

⑩ $\frac{1}{x} + (x - 1)$ と $x \rightarrow \infty$ のとき

⑪ $\sqrt{x^2 + 2x - 3} + (x - 1)$ と $x \rightarrow \infty$ のとき

$= \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{4(x - 1)}{\sqrt{1 + \frac{2}{x} - \frac{3}{x^2}} + 1 - \frac{1}{x}} = \frac{4}{2} = 2$

2020.08.27
2020.04.27
2020.02.29

明清现代

No.

9

2018.08.27
2018.10.29
2018.12.27

276

明清 (1) 1368-1912

朱元璋在元末农民起义中力挽群雄，推翻了元朝的腐败统治，
(1328-1398)

2020.11.02

建立了明王朝。他在政治，军事上作了一番革故鼎新的变革。

朱元璋参加了红巾军，时年25岁。

2019.06.24

1976年4月、华とアフリカ開発事務所長、トーマス・ア・ワグネル会談した。

この時の報告書は発見性の豊かなものがあった。

「华は聡明で自信が強く、移行期の理想の人物らしい。内外政策で劇的な
政策を打ち出している。」
「私は新左派、より右の古い指導者の登壇を望んでいる
と思う。华は歴史的存在意義を果した後、お世直し押し進めて(主張する)」

明朝建于1368年，至1644年灭亡，先后16个皇帝，共276年。

朱元璋，(集)军政大权于一身，在经济上采取了一系列恢复和
发展社会经济的措施，为明初的经济繁荣奠定了良好的基础。

明清(5) 1584-1912

No.

Date

1616年, 努尔哈齐建立后金, 定都赫图阿拉 (今辽宁新宾县), 创建了统一的女真族奴隶国家。皇太极在位时期, 后金完成从奴隶制向封建制的转化, 改国号为清。

努尔哈齐 (1559-1626) 是女真酋长猛哥帖木儿的六世孙,

姓爱新觉罗, 一度投到明守边名将李成梁帐下, 喜读
(全) (续)

<三国演义> 和 <水浒传> 接受过汉文化的熏陶。回建州后, 被封为建州左卫都督, 并加封龙虎将军。

努尔哈齐在统一女真各部的过程中, 建立了八旗制度, 平时耕猎, 战时出征。

外債といっても、年金を供して、これから米口債を買い込んでいる。

米中関係が悪化して、中国が米口債を売り出す事態となれば、

米口債は暴落して、日本年金は減る。

日本が何の事態で世界の信託を失って、口債や株の暴落した相場も年金は大きく目減りする。

明清(9) 1368-1912

在清前期对外贸易、中国长期保持出超

英国为了改变贸易中入超的不利地位，决定把鸦片作为对中国贸易的

主要商品。乾隆年间，英^东印度公司占领了鸦片产地孟加拉，1773年

开始对中国经营鸦片贸易。

军队战斗力削弱，白银外流，百姓负担加重。鸦片输入成了当时严峻的社会问题。1839年3月，林则徐以钦差大臣身份来到广东禁烟。

新疆ウイグル自治区



ことをいう。天山山脈と崑崙山脈のあいだに東西の長さ1100キロ、南北の幅500キロ、総面積約53万平方キロもあるタリム盆地が広がる。天山山脈とアルタイ山脈に囲まれているのは、総面積三十数万平方キロのジュンガル盆地である。雪をいただく山々と氷河は500以上の川の源となり、無数のオアシスをつくりだす。ただし、川のはほとんどは海に流れ込まない内流川である。全長2179キロあるタリム河は新疆最長の川というだけでなく、中国一長い内流川でもある。カザフスタン領内のバルハシ湖に注ぎ込むイリ河は全長1500キロ、27の支流をかかえ、新疆で水量がもつとも多い川である。アルタイ山脈を源にするエルテ

を囲んでいるという表現で説明できる。三つの山脈とは平均海拔3000メートルの北部のアルタイ山脈、平均海拔4000メートルの中部の天山山脈、平均海拔5000メートルの南部の崑崙山脈の

中国の人口と面積の分布 天児慧著 2010.4 PHP研究所刊

人口 2,131万人

面積 165万km²

略称 新

首都 ウルムチ

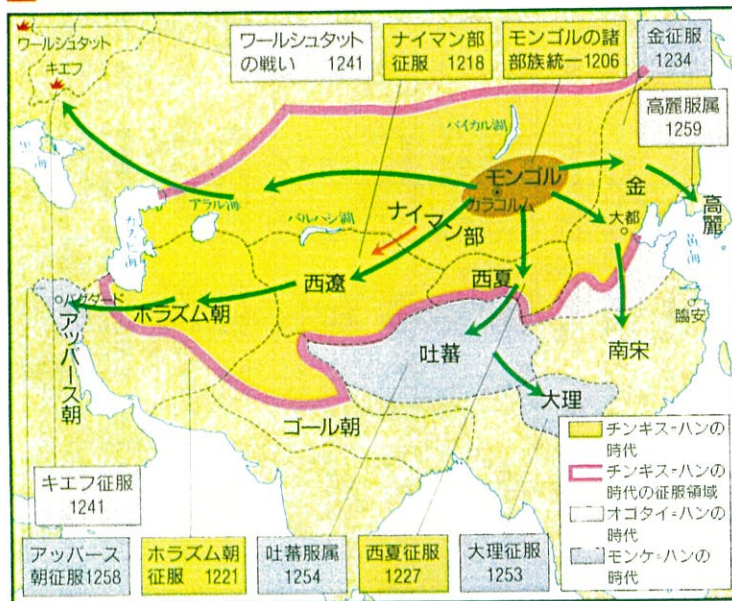
GDP 4,200 億元 (GDP)

6 モンゴル帝国と元

①ユーラシアに空前の大帝国出現
②東西交流活発、ヨーロッパ人中国へ

(参照)
P.80 イスラム世界の分裂と
P.100 東ヨーロッパ世界の成

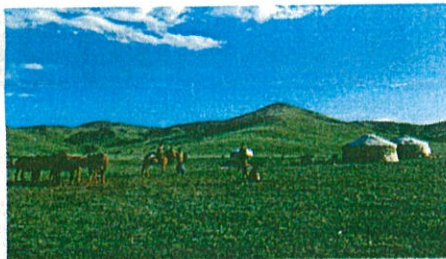
1 モンゴル帝国の征服



モンゴル高原には多くの部族が乱立し、互いに抗争を繰り返していた。モンゴル部族の首長テムジンはタタール・メルキト・ケリト・オングート・オイラートなどの諸部族を統一し、クリルタイ(重要事項を決定する集会)でチンギスハンの称号を受けた。この後、モンゴルは東アジアをはじめ、西方の強国ホラズムや広大なロシアを征服し、東ヨーロッパまで侵襲した。また、イスラム教の教国アッバース朝も滅ぼし、その勢いは全世界を震撼させた。

→モンゴル高原とゲル

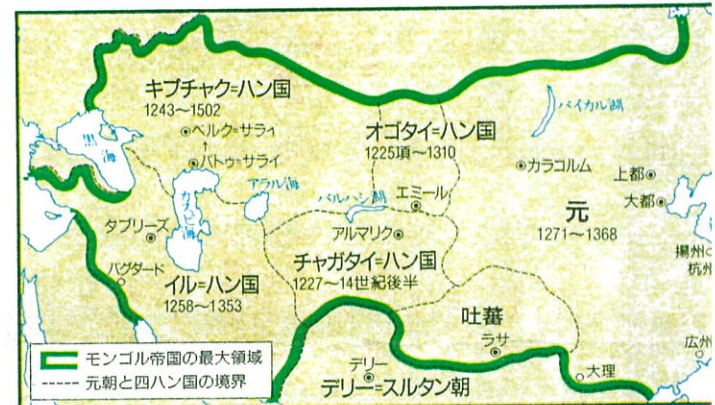
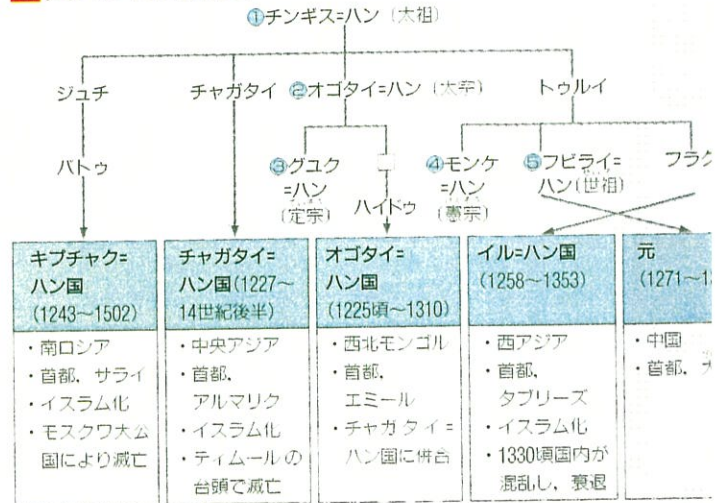
モンゴル高原は北海道と同じくらいの緯度であるが、標高は平均1500mもあり、1月の平均気温が氷点下26℃になる。モンゴル人は長く厳しい冬をゲルの中で過ごした。ゲルは組み立てが容易であり、しかも軽量で、移動に便利のため、遊牧生活には最適であった。



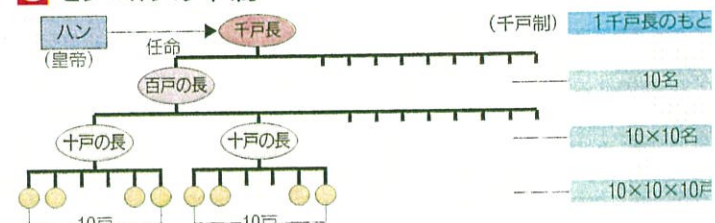
←ワールシュタットの戦い
バトゥの率いるモンゴル軍は、ロシアを占領した後、東ヨーロッパでシレジア公ハインリヒの率いるドイツ・ポーランド連合軍を撃破したが、オゴタイハンの死によって遠征は中止された。その後まもなく、バトゥはロシアにキプチャクハン国を開いた。



2 四ハン国の成立



3 モンゴルの軍制



チンギスハンは、全モンゴルを95の千戸に分け、勲功のあった將軍をそれぞれの長にた。千戸長は、百戸の長・十戸の長を自由に任命して支配した。各長は、それぞれ一定を率いて従軍することが義務づけられた。千戸制は行政組織も兼ね、集権化に多大な役たした。

4 モンゴル帝国・元の変遷

モンゴル帝国 (首都、カラコルム)

- 1206 テムジン、モンゴルを統一し、クリルタイでハ
ン位に就き、チンギスハンとなる
①太祖(チンギスハン)(位 1206~1227)
●千戸制(新しい軍事・行政機構)
●占領地にダルガチ(軍司令官)を配置
●ヤサ(ジャサ、法令)の制定
●駅伝制(站赤)の整備、内陸
部の東西交通が盛んとなる
●金への侵入開始(1211~)
●ナイマン部(旧西遼を支配)
を滅ぼす(1218)
●ホラズム(1221)・西夏
(1227)を滅ぼす



- 1225頃 オゴタイハン国成立
1227 チャガタイハン国成立
②太宗(オゴタイハン)(位 1229~1241)
●金を滅ぼす(1234)
●首都カラコルムを建設(1235)
●バトゥのヨーロッパ遠征(1236~1242)
●キエフ公国を占領(1240),
●ワールシュタット(リーグニッツ)の戦い
(1241)でドイツ・ポーランド連合軍を破る
1243 キプチャクハン国成立
③定宗(グユクハン)(位 1246~1248)
1246 伊の修道士カルピニ、カラコルムに到着

↑チンギスハン(太祖)

- ④憲宗(モンケハン)(位 1251~1259)
●フビライ、大理(1253)を滅ぼし、吐蕃(1
高麗(1259)を服属させる
●フラグ、バグタート(1258)を占領、アッバース
朝、イルハン国が成立(1258)
1254 仏王の使者ブルック、カラコルムに到
⑤世祖(フビライハン)(位 1260~1294)
●大都(現在の北京)に遷都(1264)
●パスパ文字の完成(1269)
1266 ハイドウの乱(~1301)
フビライのハニ位継承に反対して、オ
ハン国のハイドウがチャガタイ・キ
クの2国を誘って反乱



一帯一路と中国の皇帝 (中国の統治の歴史)

(1月のごあいさつ)
平成30年1月1日(月)

陳舜臣先生の中国の歴史を読み終えた。史記や三国志や十八史略も併読しながら、最後は習近平の全地球的経済発展戦略(一帯一路)にも目を通した。

中国の歴史を見て、**皇帝(強力な指導者)**には二つのスタイルがあるように思う。それは、中国という大国を統治することに主眼を置いた皇帝と国際的な視野で中国を拡大した皇帝である。

中国を統治した皇帝の第一は、言うまでもなく、**秦の始皇帝**である。春秋・戦国の諸侯や英雄が並立する時代を、歴史上初めて一つの中国にまとめた英雄は始皇帝である。次に秦の短い統治を反省し、四百年間の漢の時代を開いたのは、楚の項羽を下し漢を建国した**高祖劉邦**であった。その後再び分裂した中国を統一したのは隋であり、隋を継いだ**唐**である。蒙古による異民族支配に取ってかわり、漢人の政権を打ちたたてたのは、**明の洪武帝朱元璋**であった。時を経て現在の中国を統一した指導者は**毛沢東**である。これらの強力な皇帝は中国という大国を一つにまとめた。

これらの皇帝に対し、中国の外に目を向け、**国際性を目指した皇帝**がある。その第一は**漢の武帝**である。高祖、文帝の国内の蓄積を活用し、匈奴を撲滅するという戦略の下に、遠くローマまでのシルクロードを開いた武帝は、中国を一気に**世界帝国へと飛翔**させた。武帝の後も**唐の都長安は玄宗の盛唐時代**を中心に国際的都市であった。その後、帝国の版図拡大に努めた皇帝は**元の成祖フビライ**であり、シルクロードを経由した東西の往来は軌道に乗り、国都大都(北京)には東方見聞録を著わしたマルコポーロも訪れている。**明の永楽帝**は韃靼を討ち、鄭和を南海、遠くアフリカまで派遣して諸国に従わせた。

2014年11月、中国で開催されたアジア太平洋経済協力首脳会議で、**習近平総書記**は、中国西部から中央アジアを経由してヨーロッパへつながる「**シルクロード経済ベルト**」(一帯)と中国沿岸部から東南アジア、アラビア半島、アフリカ東岸を結ぶ「**21世紀海上シルクロード**」(一路)の二つの地域を中心に世界経済圏構想を提唱した。そして、その実現へ向けたアジアインフラ投資銀行(AIIB)やシルクロード基金の創設などの諸政策は顕在化しつつある。

他国の内政に干渉せず、体制モデルを押し付けないこの戦略は、従来のアメリカによる**軍事的リーダーシップ**とは一味違う、世界の経済的繁栄を主眼とした考え方であり一目に価する。

75年間の足跡を振り返る

国連憲章に最初にサインした時から、「人類運命共同体の構築」がいくつもの国連決議に書き入れられるまで、国連創設から75年の歳月の間に、中国は一つ一つ足跡を残してきた。特に1971年に国連における合法的権利を回復して以来、国連という舞台で、中国は一貫して国連事業の確固たる支持者であり、積極的な参与者であり続けてきた。

国連創設75周年という節目に、中国が歩んできた国連における足跡を振り返ると、どの一步も中国と国連の緊密な協力を記録したものとなっている。これらは歴史を証明するだけでなく、現実に啓発を与えるものでもある。

国連創設の初心を守る

45年4月25日、世界反ファシズム戦争に勝利の兆しが見え、人類が平和の希望を見いだした際、国際機構に関する連合国会議がサンフランシスコで開かれた（サンフランシスコ会議）。50カ国288人の代表が「人類が今世紀に2度経験した悲惨な戦禍に後世の人々が



1974年4月10日、鄧小平副総理（当時）は最初に国連の会議に出席した中国政府の指導者として、世界に向けて中国の外交政策と綱領を全面的に説明した（新華社）



1971年10月25日、第26回国連総会で中華人民共和国の国連における合法的権利の回復が宣言されたとき、躍り上がりそうなほど歓喜した喬冠華・副外交部長（当時、手前左）と黃華・国連常駐代表（同、手前右）（新華社）

再び見舞われないようにする」という決心の下に、国連憲章について検討を重ねた。6月25日、参加した代表の全員一致で国連憲章が採択され、翌日、中国は加盟国として、率先して国連憲章にサインをした。同年10月24日に憲章は発効し、国連が正式に成立して、世界平和と発展事業の新たな時代を開いた。

沈曉寧 文



9月21日、習主席は国連創設75周年記念ハイレベル会合で全世界が国連の旗印の下でより大きな団結と進歩を実現していくよう呼び掛けた（新華社）

49年10月1日、中華人民共和国が成立した。中国共産党の指導の下で、中国人民は新中国建設の歴史的時代を迎えた。しかし米国の操作の下、50年9月の第5回国連総会で、中華人民共和国の国連における合法的権利を回復させるという決議案が否決された。71年10

月25日、第26回国連総会できっと76票の賛成、35票の反対、17票の棄権という圧倒的多数で、中華人民共和国の国連における一切の合法的権利の回復についての第2758号決議が採択され、中華人民共和国政府の代表が国連における中国の唯一の合法的代表であることが承認された。

その後1カ月を経ずして中国代表団は第26回国連総会に出席し、団長を務めた喬冠華は中華人民共和国政府を代表して、全世界に新中国の「平和と正義」を守るという立場を表明し、「われわれは平和を愛し、正義を擁護するあらゆる国と人民の味方であり、各国の民族独立と国家主権を守り、国際平和を維持して人類の進歩事業を促進するために共に努力してい

く」と述べた。

その後の歲月の中で、国際情勢はめまぐるしく変化し、中国の発展は日進月歩だったが、中国は国連創設の初心を貫き、人類の平和と正義に関する事業の維持・発展のために絶えず時代性を帯びた新たな主張を打ち出してきた。

74年4月10日、鄧小平國務院副総理（当時）は、初めて国連の壇上に立った中国の指導者となった。彼は国連第6回特別総会で、「中国は永遠に覇を唱えず（3）、中国は今も超大国ではないし、将来もそうはならない」と厳肅に宣言した。

95年10月、国連50周年記念総会特別会合がニューヨークの国連本部で開かれた。江沢民国家主席（当時）は中国の国家元首として初めて国連総会に出席し、演説を行った。江主席は、「人類社会が進歩に向かうすう勢を阻むことはできない。自分の強さを頼みにして、武力を過信し、覇権を得ようとして拡張政策を行ういかなる国も、必ず失敗する。いかなる口実を設けて他国の主権を犯し、他国の内政に干渉しても、その結果は最後には全て自分に跳ね返ってくる」と指摘した。彼は各国の政治家に、「世界人民の期待に背くことなく、共に素晴らしい世界をつくり上げていこう」と呼び掛けた。

2005年9月15日、胡錦濤国家主席（当時）は国連創設60周年首脳会議に出席した。会議の中で胡主席は、国連の役割強化、国連改革の推進、国際的開発協力の促進などの問題に対する中国の具体的な主張を全面的に述べた上で、「平和が持続し、共に繁栄する調和の取れた世界の建設に努力する」という新たな理念を提起した。中国の「調和の取れた世界」という新たな世界観は、これにより国際社会の広範な注目を集めた。

世界平和と発展に貢献

17年1月、ジュネーブの国連欧州本部で行われた「人類運命共同体の共同構築を共に協議」と題するハイレベル会合が世界の注目を集めた。習近平国家主席がこの会議で気迫ある力強い言葉で、「平和のたいまつを代々伝え、発展の原動力を絶やさずにつくり、文明の光を輝かせることは、各国人民が期待するものであり、われわれの世代の政治家が担うべき責任である。中国のプランとは、人類運命共同体を構築し、ウインウィンと共有を実現するといふものだ」と語った。

「人類運命共同体の構築」は中国の新時代の外交政策の総目標であるだけでなく、グローバルガバナンスの問題を解決するための時代

⑨ 法华经

仏教について

2019.08.24

2020.04.27

1. 概 論

東洋的な思想 — 仏教

西洋的な合理主義に対して.

(地球の破壊、人間の苦悩と対して)

仏教の世界観は、人間を含めあらゆる生物、無生物の
存在の面を平等とし、共生共存の中で人間の幸せを追求する。

釈迦牟尼の教えは、八万四千の法門といわれている

それを諸教の王法華経は、諸教の教えの精髓となっている。

无量义经

法華経

仏教の教え

仏教の根本的な思想
一切の平等、実相

釈尊や諸仏の

寿命、永遠性

修業、偉大さ

例え話、比喩 *bi yu*

心から、偉大な結果

生物、無生物の
存在の面を
平等とする

无量义 (説法品より)

一切のものは、此世として同じものはない。

刻々と移り変わっていく所に在るが、-----

実は、その本来の性質や すがた (相) は、変化することはない。

つまり、一切のものは、本来、差別を超越した 空、
永遠に変わることはない 大相和 (寂) という二相が真実であることを
見極めなければならぬ

生と滅

世の中の変化や 混乱を見て、

一切のものは (諸) を深く理解した上で、

(1) どのようなことか 生 (生)

(2) なぜか しづらくは 住 (住)

(3) あるいは変化して 行 (行)

(4) して おしまいに 滅 (滅)

を理解し、一切の諸法 (ものは) を変じ、

移り変わるものと、見極めをつける。

一 平等

世の中は完全に 平等、一 直線に進行し続けている

その中へ 変化 (生、住、異、滅) している

ことを修得し、その根本とする。

説法品第二

法華經の新しい解釈 (p.1628 p.2254)
現代人の法華經 p.823

4

(1) 最高無上の悟りに達する教え

— 無量義の教え —

① この世のすべてのものの現存を正しく見極める

② ^{そこを} 何ぞ生きているのか (生)

その中身の状態をどうするのか (住)

異なったものに变化するの、(異)

あるいは消滅するの、(滅)

生住異滅を見極める

③ 世の中のすべてのことから、一刻も不変でいることはなく、常に生じ、かつ滅していることの認識

④ ^{そこを} 一瞬、一瞬に行われている

⑤ 多くの人々の機根、性根、欲望を見極める
^{千差万別の}

(無量の存在と無量の教え)

⑥ 無量の教えは、それぞれ一つの真理、元相から生ずる

⑦ (元相)とは、差別をつくらぬ、一切皆平等である、実相である。

⑧ この世のすべてのものことは、本来空であり、寂であり、刻一刻、生じ、かつ滅するものなる

小説 人間革命(下) 戸田城聖 1-5

(獄窓の生活)

昭和19年1月

誤配

拘置所の独房に面会されたのは、要望は小説ではなくて、

日蓮宗の聖典であった

(~~監獄~~での~~獄窓~~の工夫 ... 8冊の本を16冊+2、石版で写、
やり直し本をほつて糸を解き、紙を移転 -----)

无量義徳行品より

「... 其の身は有に非ず 亦无に非ず、 方に非ず 象に非ず、

自他に非ず、 生に非ず 死に非ず、 生滅に非ず、

坐に非ず 臥に非ず、 行住に非ず、 動に非ず 転に非ず、

閑静に非ず、 進に非ず 退に非ず、 安危に非ず、

是に非ず 非に非ず 得失に非ず、 彼に非ず 此に非ず、

去来に非ず、 青に非ず 黄に非ず、 赤白に非ず、

戒定慧解知見より生じ、 三昧六通道品より發じ、

茲悲十力無畏の起り、 衆生善業の因縁の成り ---」

「仏とは生命なるなり」

巖さくは机の前で叫んだ。

沖縄と中国との最初の国交

1372 年、明の太祖は、琉球へ朝貢を要求し、察度王は表を奉って臣と称し貢物を献上した。これに対し、太祖は察度に太統暦、金織等を賜り、中山と明との公式交通が開始された。

朝貢関係は大国にとっては、名を取り、実を捨てるものであるのに対し、小国にとっては名を捨てて実を取り、莫大な利益を収めるものであった。

明や次の清にも朝貢したが、両国は琉球の内政に干渉せず、その実質的独立を認めていた。

沖縄が植民地化したのは、薩摩に対してだけであった。

1388 年、モンゴル元の遣子「地保奴」が琉球に追放された。

「明実録」によれば、明の太祖朱元璋の配慮で資財を与えられ、一族と共に琉球に配流された。

江戸期、琉球には、「日本にとって、清の皇帝は父、朝鮮は兄、琉球は弟」という認識があった。日本は、弟琉球に対する支配が特に強かったようだ。

沖縄と米国との最初の国交 (米国との修好条約)

1854 年 7 月 11 日アメリカ合衆国と琉球王国が那覇において琉米修好条約を結んだ。

当初、琉球政府は要求拒否を貫いたが、薩摩を通して幕府の意向を確認したところ、「琉球は異国であり、薩摩に委ねるが、やむなき場合は通商容認」との反応 (老中阿部正弘の時代) であった。

ペリー一行は、浦賀での日本へ開国を迫る交渉に際して、5 回延べ 85 日も琉球に滞在している。